

第2回袖ヶ浦市地域公共交通活性化協議会 会議録要旨

1 開催日時 令和3年10月25日（月） 午前10時00分開会

2 開催場所 袖ヶ浦市役所 旧館3階大会議室

3 出席委員

会長	鈴木 文彦	委員	鈴木 利和
副会長	小島 悟	委員	榎本 昇
委員	中村 元	委員	仲田 秀明
委員	澤井 正貴	委員	西田 隆司
委員	中西 耕二	委員	影山 昭子
委員	成田 斉	委員	赤川 稔
委員	高橋 晴樹	委員	船越 光子
委員	宮崎 隆一	委員	重田 克己

(代理出席)

委員	渡邊 彰代理 米本 茉利恵
----	---------------

(欠席委員)

委員	大川 敦
委員	市川 美則
委員	有海 勝教
委員	平野 竜也

4 出席職員

袖ヶ浦市長	粕谷 智浩
企画政策部次長兼企画政策課長	千田 和也
企画政策部企画政策課 副参事	多田 晴美
企画政策部企画政策課 副主査	御園生 諒

5 傍聴定員と傍聴人数

傍聴定員	5人
傍聴人数	0人

6 議 題

- (1) 監査委員の指名について
- (2) 令和3年度補正予算の専決について
- (3) 第4回路線バス無料お試し乗車の実施結果について
- (4) 袖ヶ浦市地域公共交通計画策定調査業務委託について
- (5) デマンド交通の実証運行について
- (6) その他

7 議 事

<p>事務局 (多田副参事)</p>	<p>本日は、お忙しい中ご出席いただきまして誠にありがとうございます。 定刻となりましたので、ただ今から、令和3年度第2回袖ヶ浦市地域公共交通活性化協議会を開催いたします。なお、本日は新型コロナウイルス感染症の対策といたしまして、窓や出入口を開放して開催いたしますのでご了承ください。 会議に入ります前に、本日の出席者数について報告いたします。 本日の出席者は、17名でございます。全委員21名の過半数の出席をいただいておりますので、協議会規約第8条の規定により会議は成立しております。 また、所用のため、渡邊委員の代理で米本様に出席いただいておりますので、ご報告いたします。 本日は、当協議会から地域公共交通計画策定調査業務を委託したランドブレイン株式会社の 田中執行役員兼業務推進室長 瀬戸都市政策グループ交通政策チーム 副チーム長 鈴木都市政策グループ交通政策チーム 主任 の3名にもご出席いただいております。 次に、配付いたしました資料を確認させていただきます。 先にご送付させていただいております、「会議次第」、「資料1」、「資料2」、「資料3」、「資料4-1」、「資料4-2」、「資料4-3」、「資料4-4」、「資料5」、と本日机の上に配付させていただきました「座席表」、「委員名簿」の以上11点でございます。 以上でございますが、資料の配付もれはございませんでしょうか。 (配付漏れなし)</p>
<p>事務局 (多田副参事)</p>	<p>続きまして、粕谷市長から新たに委員になられた方に委嘱状を交付させていただきます。お名前をお呼びいたしますので、自席にてご起立のうえ 委嘱状をお受け取りください。 (市長より委嘱状交付)</p>

<p>事務局 (多田副参事)</p>	<p>次に、会議開催にあたりまして、粕谷市長よりごあいさつを申し上げます。</p> <p>(市長あいさつ)</p>
<p>事務局 (多田副参事)</p>	<p>続きまして、鈴木会長より、ご挨拶を賜りたいと存じます。よろしくお願ひいたします。</p> <p>(会長あいさつ)</p>
<p>事務局 (多田副参事)</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>なお、市長は所用のため、ここで退席とさせていただきます。</p> <p>(市長退席)</p>
<p>事務局 (多田副参事)</p>	<p>それでは、協議会規約第7条第1項の規程により、会長が会議の議長となることとなっておりますので、これからの議事進行を鈴木会長にお願いしたいと存じます。どうぞ、よろしくお願ひいたします。</p>
<p>議長 (鈴木会長)</p>	<p>それでは、規約によりまして、私が議長の役目を務めさせていただきます。ご協力の程よろしくお願ひいたします。</p> <p>次第5 議題1 「監査委員の指名について」</p> <p>監査委員は袖ヶ浦市社会福祉協議会の重田委員と日東交通株式会社の加藤委員にお願いしていましたが、今回、加藤委員に異動が生じたため、新たに監査委員を指名するものであります。監査委員の監査委員については規約の第14条第2項に「会長が指名する」と規定されております。</p> <p>従いまして、私から指名させていただきたいと思ひます。</p> <p>監査委員に日東交通株式会社運輸部長 高橋 晴樹委員にお願いしたいと存じます。</p> <p>以上、ご報告申し上げます。</p>
<p>議長 (鈴木会長)</p>	<p>次の議題に移ります。次に、議題2「令和3年度補正予算の専決について」事務局より説明をお願いします。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">事務局より、資料2に基づき説明</p>
<p>議長 (鈴木会長)</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、質疑をお受けしたいと思ひます。事務局からの説明について、ご質問、ご意見がありましたら、ご発言をお願いします。</p>

赤川委員	国庫補助金が減額となった理由は何でしょうか。
事務局 (御園生副主査)	昨年 <small>の</small> 法改正により、地域公共交通計画の策定が努力義務となり、今年度計画を策定する自治体が多かったことが理由であると関東運輸局から聞いております。
赤川委員	今年度分について、今後、増額になる見込みはあるのでしょうか。
事務局 (御園生副主査)	増額の可能性があることは聞いておりません。
議長 (鈴木会長)	他に質疑が無いようですので、次の議題に移ります。議題3「第4回路線バス無料お試乗の実施結果について」事務局より説明をお願いします。
	事務局より、資料3に基づき説明
議長 (鈴木会長)	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、質疑をお受けしたいと思います。</p> <p>ただ今の事務局からの説明について、ご質問、ご意見がありましたら、ご発言をお願いします。</p> <p style="text-align: center;">(発言無し)</p>
議長 (鈴木会長)	質疑が無いようですので、次の議題に移ります。議題4「袖ヶ浦市地域公共交通計画策定調査業務について」事務局より説明をお願いします。
事務局 (御園生副主査)	この議題については、実際に調査を行うランドブレイン株式会社に説明をお願いしたいと思います。
	ランドブレイン株式会社より、資料4-1、4-2、4-3、4-4に基づき説明
議長 (鈴木会長)	<p>ありがとうございました。</p> <p>この議題については、事務局より事前にアンケート調査用の意見照会の様式を配付しています。アンケート調査の細かい内容についての意見はその様式に記載し、11月1日までに事務局あてに送付してくださいようお願いします。</p> <p>この場では、それ以外のスケジュールや調査の方針などの質疑をお</p>

<p>成田委員</p>	<p>受けたいと思います。</p> <p>ただ今の説明について、ご質問、ご意見がありましたら、ご発言をお願いします。</p> <p>千葉県バス協会の成田です。</p> <p>1点目、議題3のP6で、路線バスの利用促進に関する今後の取組の方向性についての説明がありました。その中で、調査業務の結果を踏まえながら取り組んでいくとのことでしたが、どのような内容を踏まえるのかや、スケジュールの関係性を聞かせてください。</p> <p>例年5月頃に無料お試し乗車を実施しているようですが、すぐに5月になってしまいます。バス事業者も準備がありますので、教えてください。調査業務の結果が出るまで実施しないということであれば、それも選択肢の一つだと思います。</p> <p>2点目、資料4-3で公共交通の現況が示されています。現在、バス事業は、高速バス、貸切バスを含め全体的に新型コロナウイルス感染症の影響を受けており、バス事業始まって以来の危機的な状況にあります。今回の資料に新型コロナウイルス感染症の影響という言葉が少しも記載されていないのはどうなのかなと思います。利用者の減少や感染対策の実施など、現在の状況が記載されていると良いと思います。</p> <p>また、P10の高速バスの乗降者数について、平成30年度までしか記載されていないので、新型コロナウイルス感染症の影響を受けていないように誤解を与えてしまいます。令和に入ってからの部分も記載することを検討してください。</p> <p>3点目、P13から上位・関連計画におけるまちづくりの方向性の整理が記載されています。現況の整理であるため、現在の人口はもちろんのこと、総合計画には近未来の総人口や就業人口などの推移が記載されていると思いますので、それらのデータを記載してはどうでしょうか。</p> <p>4点目、資料4-4の市民アンケート調査について、15歳以上の市民2,000人にアンケートを送付することですが、回収目標数や必要サンプル数を教えてください。</p> <p>また、バス利用者アンケートについて、1日では多くの人に答えてもらえないと思いますが、どの程度の人から回答を得る想定でしょうか。市民アンケートと併せて、調査結果をどのように計画に反映していくかが重要だと思いますので、詳しく教えてください。</p> <p>5点目、資料4-2の(5)具体的な事業の検討が予定されています。事業者アンケート等を踏まえて検討していくと予想していますが、協議会で審議する前に、どのように事業者と相談していくのかを教えてください。</p>
<p>事務局 (千田次長)</p>	<p>1点目につきまして、無料お試し乗車は、同じ方が利用している傾向もみられているため、事務局内でも今後どうするかを検討している状</p>

	<p>況です。今後については、議題3でも説明いたしましたが、高校生を対象とした取組を検討しているところであります。実際に形になった段階で始められたらと考えておりますが、調査結果を反映しながら決めていけたらと思っています。次年度につきましては、まだ詳細が決まっていないので、決まり次第、報告いたします。</p> <p>2点目につきまして、委員のおっしゃるとおりだと思いますので、修正いたします。記載の場所や方法については、ランドブレイン株式会社と相談しながら決めてまいります。</p> <p>3点目につきまして、就業人口の推計はありませんが、人口推計がありますので、記載する方向で調整いたします。</p> <p>4点目につきまして、例年市が実施しているアンケートの回答率は、約40%、多いもので50%前後となっております。そのようなことから、少なくとも40%はと考えています。回答率を上げる取組として、お礼状兼督促状のようなものを送付することを検討しております。バス利用者のサンプル数については、この後ランドブレイン株式会社が回答します。</p> <p>5点目につきまして、事業や取組の大きな方向性は、事務局内で記載内容を検討している最中ですが、具体的な部分は事前に交通事業者と調整したいと考えております。</p>
ランドブレイン株式会社	<p>バス利用者アンケートについては、可能な限りヒアリングを行います。より多くの人に回答してもらうために、アンケート用紙を配布し、郵送での回収をすることを考えています。サンプル数については、利用者がどの程度いるのかや、回答率がどの程度想定されるのかを精査しながら、市と相談しながら決めていきます。</p>
赤川委員	<p>1点目、資料4-3のP10平川いきいきサポートの内容と、利用者数について教えてください。また、P11の高齢者タクシー料金助成事業の利用率などの実績を、可能であれば地区別に教えてください。</p> <p>2点目、若い人は自家用車での移動が多く、高齢者は公共交通を使う人が多いなど、年齢層によって移動手段が異なっているため、アンケート対象者の抽出の条件として、年齢層での抽出を行う必要があると思いますが、どのように考えていますか。</p>
事務局 (千田次長)	<p>1点目、平川いきいきサポートの利用者について、現在約70人が利用登録をしており、平川地区全体から見ると割合は低い状況です。ただし、実際に困っている人にとって、有効に使える移動手段であると考えております。</p> <p>また、高齢者タクシー料金助成事業の利用率については、手元に資料が無いので、詳細にお答えできませんが、市全体で見ると利用率は低い状況です。理由としては、対象要件が決まっており、そもそも対象者が</p>

<p>議長 (鈴木会長)</p>	<p>少ないことが挙げられます。地区ごとの傾向としては、昭和地区と長浦地区の利用率が高く、平川地区は低くなっていると聞いております。</p> <p>2点目、地区別、年齢別の人口については統計を取っているため把握していますが、事務局といたしましては、どの年齢層にも困っている人や課題を持っている人がいるため、どの年齢層にもある程度平均的にアンケートを取りたいと考えております。</p> <p>他に無いようですので、事務局の案のとおり進めていただければと思います。出た意見については事務局で検討・反映をお願いします。成田委員からの意見にありましており、新型コロナウイルス感染症については、流行から1年以上経過し、ある程度の傾向が分かっているのので、影響等を加味した計画策定に努めてほしいと思います。</p>
<p>議長 (鈴木会長)</p>	<p>次の議題に移ります。議題5「デマンド交通の実証運行について」事務局より説明をお願いします。</p> <p style="text-align: center;">事務局より、資料5に基づき説明</p>
<p>議長 (鈴木会長)</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>この議題は、審議事項となっています。事務局案のとおり進めていくことについて、質疑等の後に決議を取りたいと思います。</p> <p>ただ今の説明について、ご質問、ご意見がありましたら、ご発言をお願いします。</p>
<p>赤川委員</p>	<p>長浦地区にした理由は何でしょうか。また、試行の期間や利用者の想定を併せて教えてください。</p>
<p>事務局 (千田次長)</p>	<p>本市では、以前平川地区でコミュニティバスやデマンドタクシーを実施しましたが、利用者は少なく、運行を取り止めた経緯があります。今回、長浦地区であれば、かなりの利用者数が見込め、問題点等の洗い出しができるのではないかと考えております。長浦地区といたしましても、駅前だけではなく、代宿など駅から離れた地域も含めた広い範囲となっています。長浦地区で問題点や必要な車両台数などを把握しながら、他の地区へも拡大していくことを検討しております。</p> <p>試行の期間ですが、3年間を想定しておりますが、長浦地区だけで3年間ではなく、範囲の拡大なども行いながら、3年間かけて各地区に適した運行を検討していきたいと考えております。</p> <p>利用者については、大半が高齢者だと想定しておりますが、その他の年齢層の人にも利用してもらいたいと思います。</p>

<p>赤川委員</p> <p>事務局 (千田次長)</p> <p>赤川委員</p> <p>成田委員</p> <p>議長 (鈴木会長)</p> <p>事務局 (千田次長)</p>	<p>スポンサーの見込みは立っているのでしょうか。</p> <p>今後の話になりますが、銀行や病院などに対して募っていきたいと考えております。また、市もスポンサーとなり、市内公共施設に停留所を設けることを検討しております。</p> <p>公民館の周辺で様々な行事を行うことから、自治会館も停留所にしてもらえたらと思います。</p> <p>運行概要の素案について、運営主体や運行主体が未定であるとの説明でした。この後決議を取ることですが、車両の大きさですとか、詳細な運行エリア、この地区を運行している路線バスの有無や運賃など、不足している情報が多くあります。曖昧な状態では、事務局に白紙委任するようなものになってしまいます。今回の決議では、様々な調整を開始することについての決議にしてもらいたいと思います。その上で、運営主体については、市長のマニフェストでもありますので、基本となる部分は市が主体となって進めてほしいと思います。また、今後、具体的な計画が決まり当協議会で審議する前に、交通事業者等と調整してほしいと思います。</p> <p>今回の決議につきましては、この素案を用いて事業者と協議を重ねていくなどの方向性についての決議となりますので、運行計画の具体的な内容を決めるものではありません。それを踏まえて、事務局から回答をお願いします。</p> <p>この事業は各交通事業者への影響が大きいと予想されることから、市のほうである程度の想定をしながら、各交通事業者に事前に話をしております。その中で、運営主体、運行主体については、市の考えを示しながら、どのように決めていくのかを検討しておりますが、現時点では決まっております。</p> <p>バス事業者にも影響が出るものと考えていますが、大きな影響を受けるのはタクシー事業者だと想定しています。そのようなことから、運行主体については、市内のタクシー事業者にお願いすることも含めて検討しております。</p> <p>車両につきましては、狭い道にも入っていけるように、なるべく小さいサイズを考えています。10人乗りのワゴンタイプでも大きいと思いますので、それよりも小さな車両が良いと思っておりますが、今後、交通事業者等と話をしながら決めていきたいと考えております。</p> <p>全てを民間事業者に任せるのではなく、市がリードし、調整しながら進めていきたいと考えております。</p>
--	--

成田委員	<p>仮にバス事業者への影響が小さいと判断し、実証運行を始めたと仮定した場合の話ですが、長浦地区でいい結果が出ると、他の地区でも導入の要望が挙がる可能性があります。まずは長浦地区のみで実証運行とのことですが、ある程度他の地区にも広がるのが求められる可能性があるということ踏まえながら、検討を進めてほしいと思います。</p>
議長 (鈴木会長)	<p>他にはいかがでしょうか。</p> <p>無いようですので、私からも質問させていただきます。</p> <p>令和4年10月から3年間の実証運行とのことですが、実績などをもとに検証し今後の方向性を見極めていく工程は、どのくらいの時期から開始することを考えていますでしょうか。また、デマンド型という交通モードが最適なのかどうかや、他に適した手段がないのかも検証する必要があると思いますが、どのように考えていますでしょうか。</p>
事務局 (千田次長)	<p>まず、検証をどのくらいの時期に開始するかについてですが、少なくとも6か月から12か月は利用の伸びなどの実績を見たいと思っています。その後、他の地区への拡大も含めて検討していきたいと考えております。</p> <p>また、デマンド交通が最適なのかどうかについては、費用対効果も踏まえながら、実証期間終了後に、各地区に何が一番適しているのかを判断していきたいと考えております。その中で、デマンドが適していない地区も出てくると思いますので、そのときには次の手段を考えていく必要があると考えております。</p>
議長 (鈴木会長)	<p>これまで様々な地域に関わってきた中で、既存のタクシーを上手に活用する手法など、いろいろと編み出してきているので、参考にしつつ、デマンド型に拘らずに検討を進めてほしいと思います。</p>
議長 (鈴木会長)	<p>他に質疑等が無いようですので、最終的な運行計画に至るまでの準備をこのような方向性で進めることについて、決議を取りたいと思います。</p> <p>このような方向性で進めることについて、賛成の委員は挙手をお願いします。</p> <p>(全員挙手)</p>
議長 (鈴木会長)	<p>全員の賛成が得られましたので、このような形で進めていただきたいと思います。</p>
議長 (鈴木会長)	<p>それでは、議題6「その他」ですが、まず、委員の皆様から何かあればお願いします。</p>

<p>議長 (鈴木会長)</p> <p>事務局 (多田副参事)</p>	<p>(発言無し)</p> <p>無いようですので、事務局から報告があればお願いします。</p> <p>議題4のアンケート調査内容のご意見につきましては、11月1日までに事務局あてにご送付くださいますようお願い申し上げます。</p> <p>また、次回会議についてでございますが、3月に地域公共交通計画策定調査業務の報告や令和4年度予算(案)等を議題とした会議を予定しております。日時等が決まりましたら、通知をさせていただきますので、よろしく申し上げます。</p> <p>なお、本日御欠席されました委員にも資料及び会議報告書を送付いたします。</p> <p>事務局からは以上でございます。</p>
<p>議長 (鈴木会長)</p>	<p>それでは、議題6を終了いたします。</p> <p>以上で、本日予定された案件の審議は、全て終了しました。</p> <p>ご協力ありがとうございました。</p>
<p>事務局 (多田副参事)</p>	<p>鈴木会長ありがとうございました。</p> <p>委員の皆様におかれましては、長時間にわたりご審議等をいただきましてありがとうございました。</p> <p>以上をもちまして、令和3年度第2回袖ヶ浦市地域公共交通活性化協議会を閉会といたします。</p> <p style="text-align: right;">(閉会 午前11時36分) 以 上</p>

令和3年度 第2回袖ヶ浦市地域公共交通活性化協議会
会 議 次 第

日 時：令和3年10月25日(月)午前10時00分
場 所：袖ヶ浦市役所旧館3階大会議室

1 開 会

2 委嘱状の交付

3 市長あいさつ

4 会長あいさつ

5 議 題

- (1) 監査委員の指名について【資料1】
- (2) 令和3年度補正予算の専決について【資料2】
- (3) 第4回路線バス無料お試し乗車の実施結果について【資料3】
- (4) 袖ヶ浦市地域公共交通計画策定調査業務について【資料4】
- (5) デマンド交通の実証運行について【資料5】
- (6) その他

6 閉 会

議題（1）監査委員の指名について

役 職 名	氏 名	機関・団体名及び役職
監査委員		

議題（２）令和３年度補正予算の専決について

1. 経緯

（１）補正予算専決日

令和３年９月２８日

（２）補正理由

地域公共交通計画策定に係る国庫補助金（地域公共交通確保維持改善事業費補助金）が、当初の見込み額よりも少額であったため。なお、不足分については、市補助金を増額して対応する。

（３）専決理由

袖ヶ浦市地域公共交通計画策定のスケジュールの都合により、令和３年１０月１日に袖ヶ浦市地域公共交通計画策定調査業務を開始しなければならず、委託事業者との契約を令和３年９月中に締結する必要があったため。

2. 補正内容

(収 入)

(単位：円)

科 目	当初予算額	補正後予算額	補正額
1 国庫補助金	3,523,000	1,411,000	▲ 2,112,000
2 市補助金	3,620,000	5,732,000	2,112,000
3 繰越金	0	0	0
4 雑入	0	0	0
合 計	7,143,000	7,143,000	0

(支 出)

(単位：円)

科 目	当初予算額	補正後予算額	補正額
1 会議費	301,000	301,000	0
2 事業費	6,842,000	6,842,000	0
3 事業費補助金	0	0	0
合 計	7,143,000	7,143,000	0

議題（3）第4回路線バス無料お試し乗車の実施結果について

1. 実施概要

（1）目的

新型コロナウイルス感染症の影響等により、路線バスの利用者が減少していることから、路線バスの新たな利用者や、通勤・通学のための定期券利用者を掘り起こすことを目的とする。

（2）期間

令和3年3月16日（火）から令和3年5月9日（日）まで

※第1回 平成29年8月 1日から平成29年8月31日まで

第2回 平成30年4月10日から平成30年5月 9日まで

第3回 平成31年4月 8日から令和 元年5月 7日まで

（3）対象路線

市内のみを運行している補助対象路線 計3路線

◆のぞみ野平岡線（日東交通株式会社）

【主な停留所 平川行政センター～上泉～のぞみ野ターミナル～袖ヶ浦公園～袖ヶ浦駅～袖ヶ浦バスターミナル】

◆のぞみ野長浦線（日東交通株式会社・小湊鐵道株式会社）

【主な停留所のぞみ野南～のぞみ野ターミナル～長浦行政センター前～長浦駅】

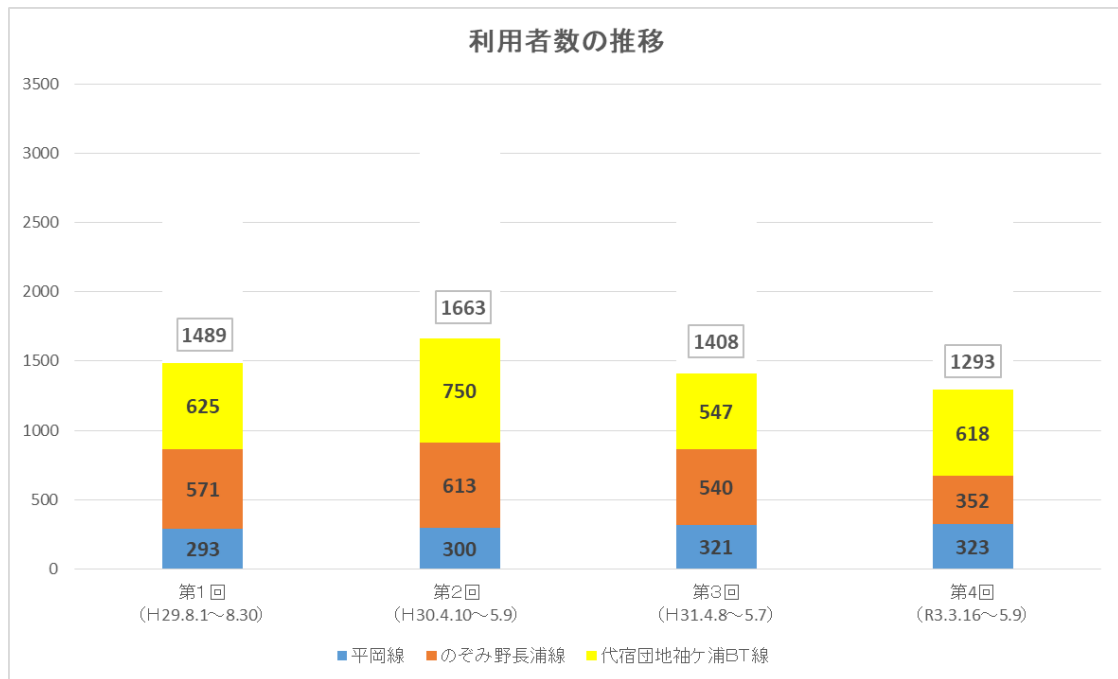
◆代宿団地（椎の森工業団地）袖ヶ浦バスターミナル線（小湊鐵道株式会社）

【主な停留所 代宿団地～浜宿団地～長浦駅～蔵波台～今井～袖ヶ浦駅～袖ヶ浦バスターミナル】

2. 実施結果

(1) 各路線の利用者数

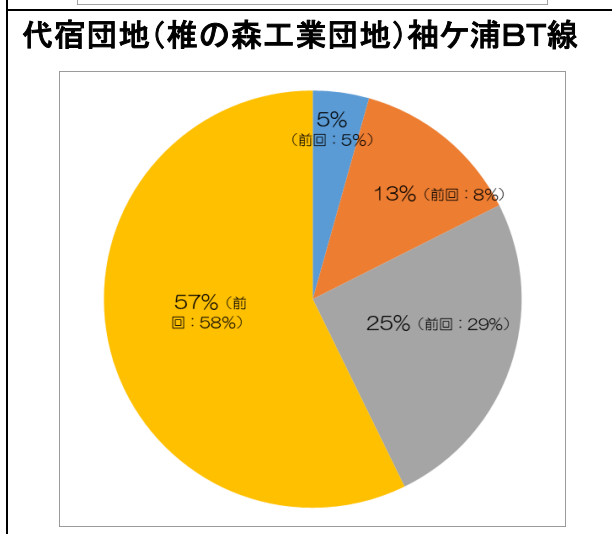
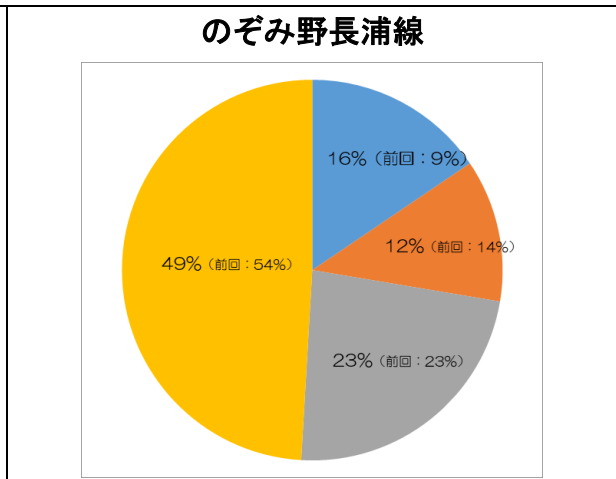
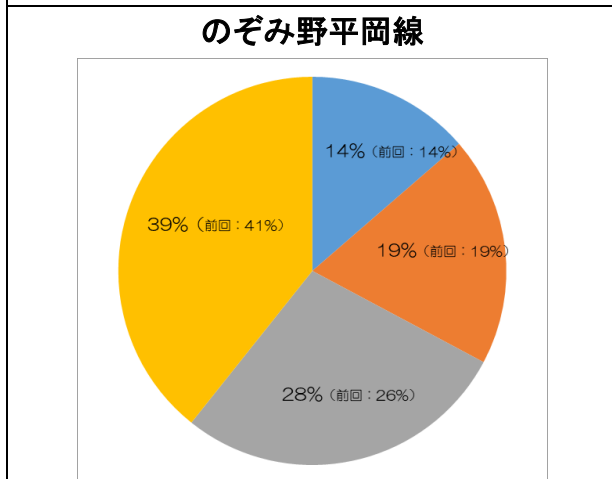
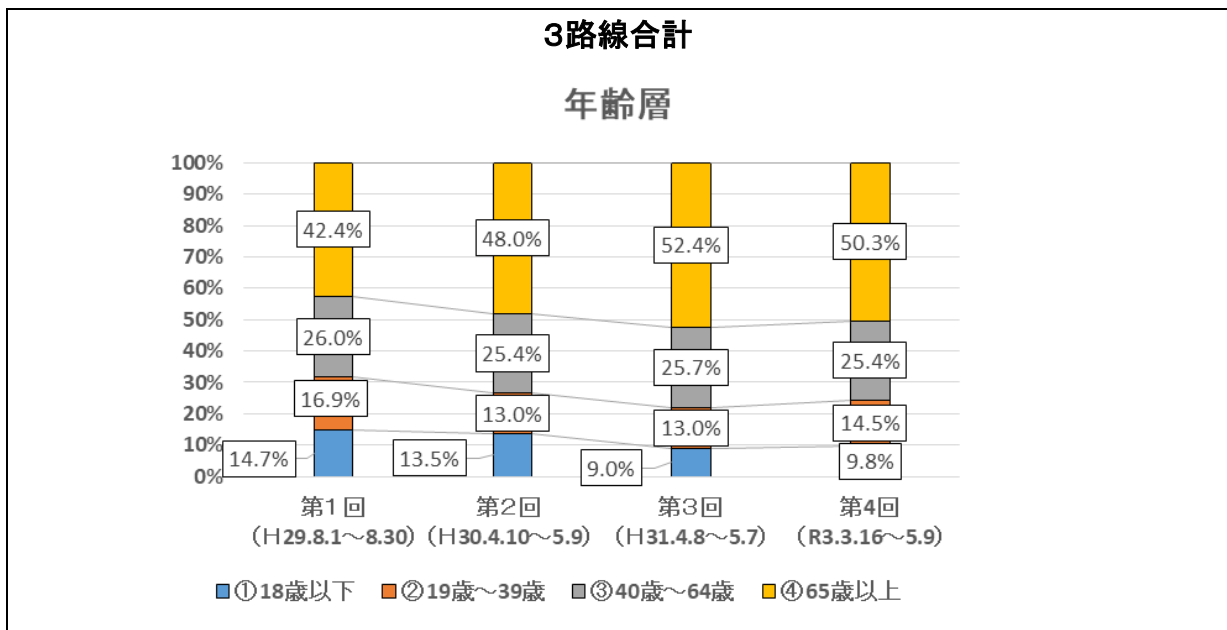
- ・のぞみ野平岡線 323人
- ・のぞみ野長浦線 352人
- ・代宿団地(椎の森工業団地)袖ヶ浦バスターミナル線 618人
- 合計 1293人



第3回の実施と比較し、利用者数が増えている路線があるものの全体の利用者数は減少した。これは、新型コロナウイルス感染症の影響により、外出を控えていることが理由と考えられる。

このような状況の中でも、お花見情報と一緒に広報に掲載するなどにより、多くの方の利用につなげることができた。

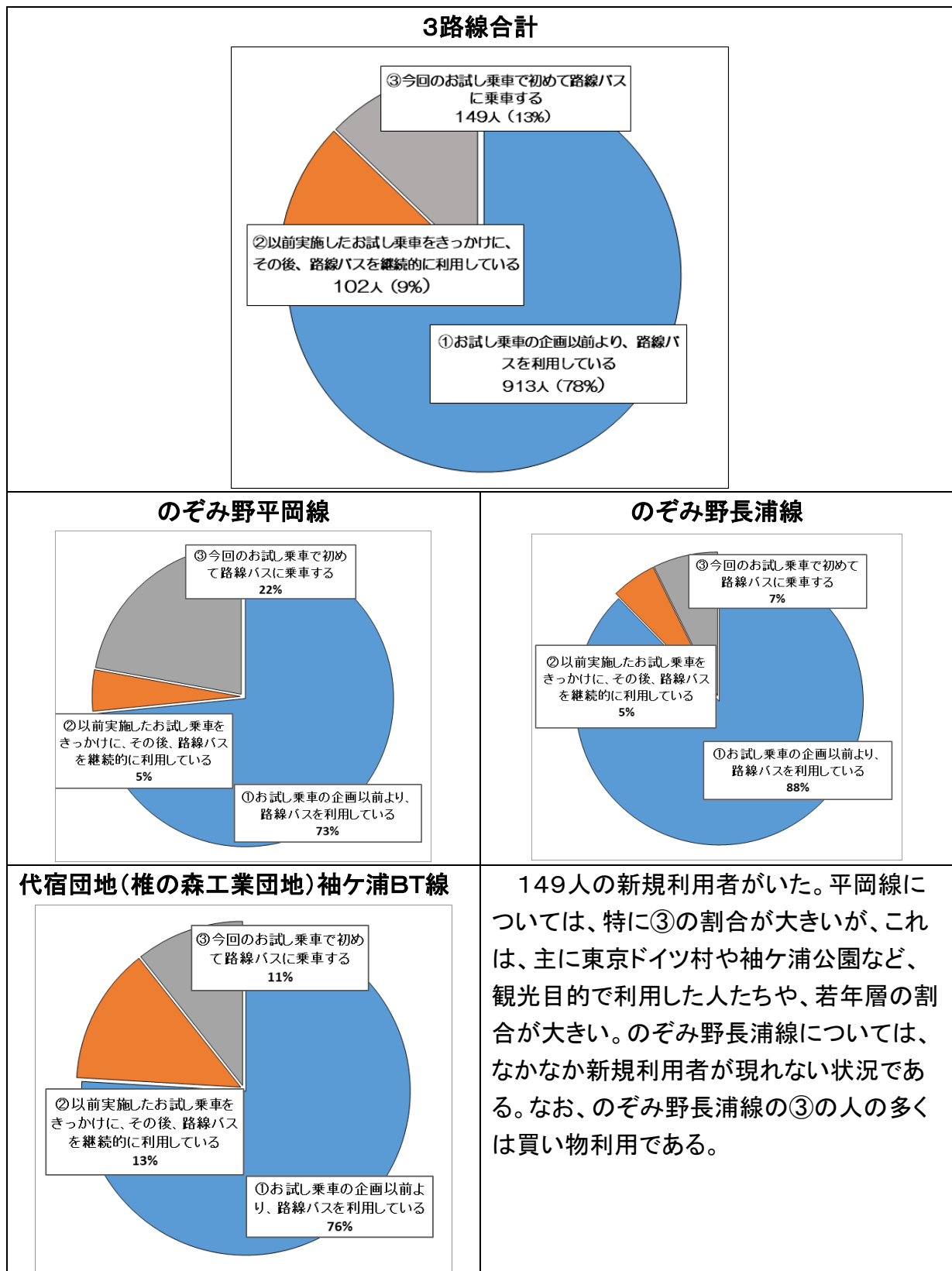
(2) 属性 (年齢層別)



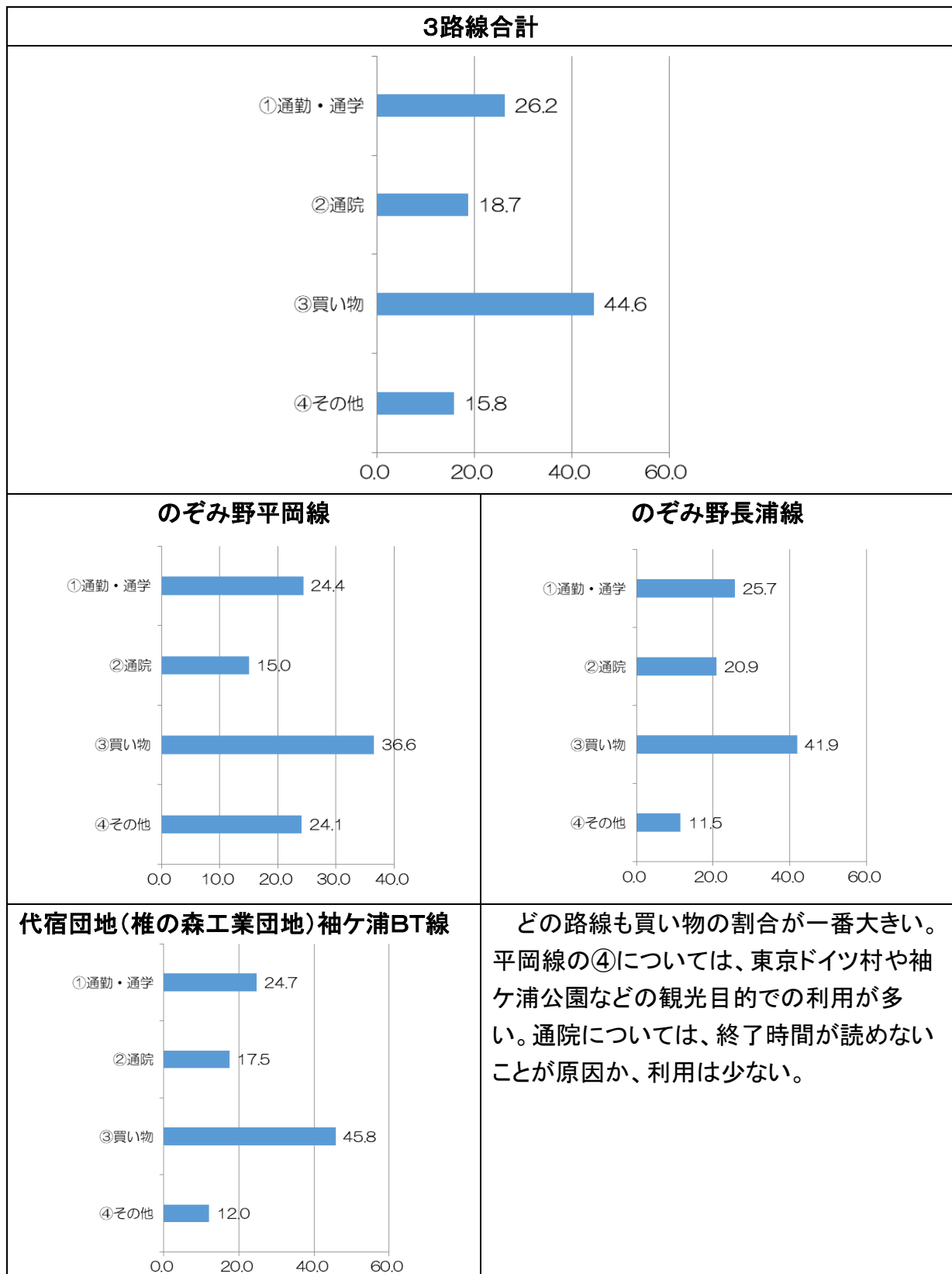
全体として、高齢者の割合が大きいが、高齢者以外も半分程度利用している。特に、平岡線は若年層の割合が他の路線と比較し大きい。利用しやすい環境づくりなど、きっかけがあれば平岡線の若年層の利用は伸びる余地があると考えられる。

代宿線は、高齢者の割合が非常に大きく、18才以下の割合が非常に小さい。今後、高校生の利用を促進する策を検討する必要がある。

(3) 属性（利用状況別）



(4) 属性 (利用目的別)



3. 今後の取組の方向性について

これまで、計4回の無料お試し乗車を実施して、路線バスの新たな利用者の掘り起こしを図ってきた。今回については、新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者全体の数は減少したものの、149人の新規利用者を掘り起こすことができた。このような社会情勢の中でも、きっかけがあれば利用につなげることができると考えられる。

そこで、今後の取組としては、新型コロナウイルス感染症の影響により、減少した利用者を回復させることや、継続した利用につなげていくことを目的に新たなきっかけを提供し、利用を促進していく。また、併せて、全体への利用促進ではなく、ターゲットを絞り、より効果的な利用促進を図っていく。具体的には、定期券利用につなげるものや、必然的に移動が発生する高校生の利用を増加させるような取組を検討していく。

これらの取組については、地域公共交通計画策定調査業務の結果を踏まえながら、バス事業者と協力しながら取り組んでいきたい。

そでがうら さくらMAP

袖ヶ浦の桜。みなさんはどこを思い浮かべますか？
今回は、袖ヶ浦の「さくらスポット」をご紹介します。
※写真は昨年のものです。
▶路上駐車などの近隣の方のご迷惑となる行為は、おやめください。
新型コロナウイルス感染症拡大防止にご協力ください
緊急事態宣言期間中は外出を控え、宣言が解除されてから桜をお楽しみください。
また、発熱などの症状がある方は外出をしない、外出時はマスクを着用する、大人数での花見や飲食を伴う宴会はしないなど、感染拡大防止のための行動をお願いします。



①坂戸神社(坂戸市場1441)



②福王台中央公園(福王台1-25-1)



③蔵波公園(蔵波台4-22-1)



3/16~5/9 おでかけや通勤に 市内補助路線バス 無料お試し乗車を利用しよう

市では、路線バスを利用するきっかけ作りとして、期間限定で市内補助路線バスの無料お試し乗車を行います。ぜひ、ご利用ください。

▶新型コロナウイルス感染症対策のため、車内の換気や消毒などを行いながら運行しています。

利用期間 3月16日(火)~5月9日(日)

利用方法 裏面のアンケートを記入し、1枚ずつ切り離して、降車時に運賃箱に入れてください。

注意事項 本券1枚で、大人・子どもを問わず、1乗車1名限り有効です。なお、コピーなど複写した券は利用できません。

☎ 企画課 ☎(62)2327 FAX(62)5916

無料お試し乗車券が 利用できる路線と主な停留所



のぞみ野平岡線 — 平川行政センター(東京ドイツ村)~上泉~のぞみ野ターミナル~袖ヶ浦高校~袖ヶ浦駅~袖ヶ浦バスターミナル

のぞみ野長浦線 — のぞみ野南~のぞみ野ターミナル~長浦行政センター~長浦駅

代宿団地袖ヶ浦バスターミナル線 — 代宿団地(椎の森工業団地)~浜宿団地~長浦駅~蔵波台~今井~袖ヶ浦駅~袖ヶ浦バスターミナル

▶市外も運行する路線バスや、高速バスでは利用できません。

第4回

袖ヶ浦市内補助路線バス 無料お試し乗車券

のぞみ野平岡線・のぞみ野長浦線・代宿団地袖ヶ浦バスターミナル線の3路線のみ有効

- ※降車時に運賃箱に入れてください。
- ※本券1枚で、大人・子どもを問わず、1乗車1名限り有効です。
- ※コピーなど複写したものはご利用になれません。
- ※裏面のアンケートにお答えいただき、切り取ってご利用ください。

有効期間

2021年3月16日(火)~2021年5月9日(日)

発行者:袖ヶ浦市 企画課
連絡先:0438-62-2327

キリトリ

第4回

袖ヶ浦市内補助路線バス 無料お試し乗車券

のぞみ野平岡線・のぞみ野長浦線・代宿団地袖ヶ浦バスターミナル線の3路線のみ有効

- ※降車時に運賃箱に入れてください。
- ※本券1枚で、大人・子どもを問わず、1乗車1名限り有効です。
- ※コピーなど複写したものはご利用になれません。
- ※裏面のアンケートにお答えいただき、切り取ってご利用ください。

有効期間

2021年3月16日(火)~2021年5月9日(日)

発行者:袖ヶ浦市 企画課
連絡先:0438-62-2327

キリトリ

第4回

袖ヶ浦市内補助路線バス 無料お試し乗車券

のぞみ野平岡線・のぞみ野長浦線・代宿団地袖ヶ浦バスターミナル線の3路線のみ有効

- ※降車時に運賃箱に入れてください。
- ※本券1枚で、大人・子どもを問わず、1乗車1名限り有効です。
- ※コピーなど複写したものはご利用になれません。
- ※裏面のアンケートにお答えいただき、切り取ってご利用ください。

有効期間

2021年3月16日(火)~2021年5月9日(日)

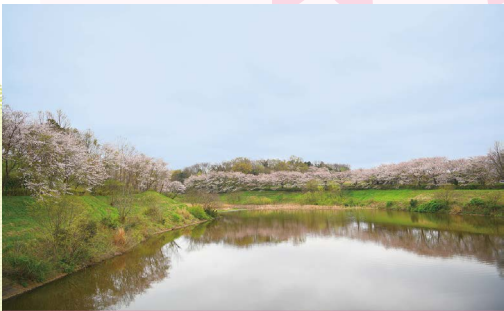
発行者:袖ヶ浦市 企画課
連絡先:0438-62-2327



④久保田公園(久保田2-1-1)



⑤代宿公園(代宿83-1)



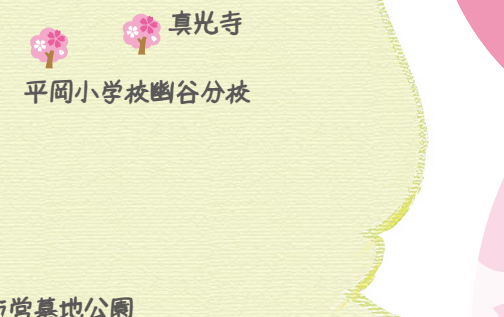
⑥新堰公園(蔵波1002-3)



⑦袖ヶ浦公園(飯富2360)



⑧のぞみ野泉台公園(のぞみ野80-1)



真光寺
平岡小学校幽谷分校



⑨光福堰(三箇2014-1)

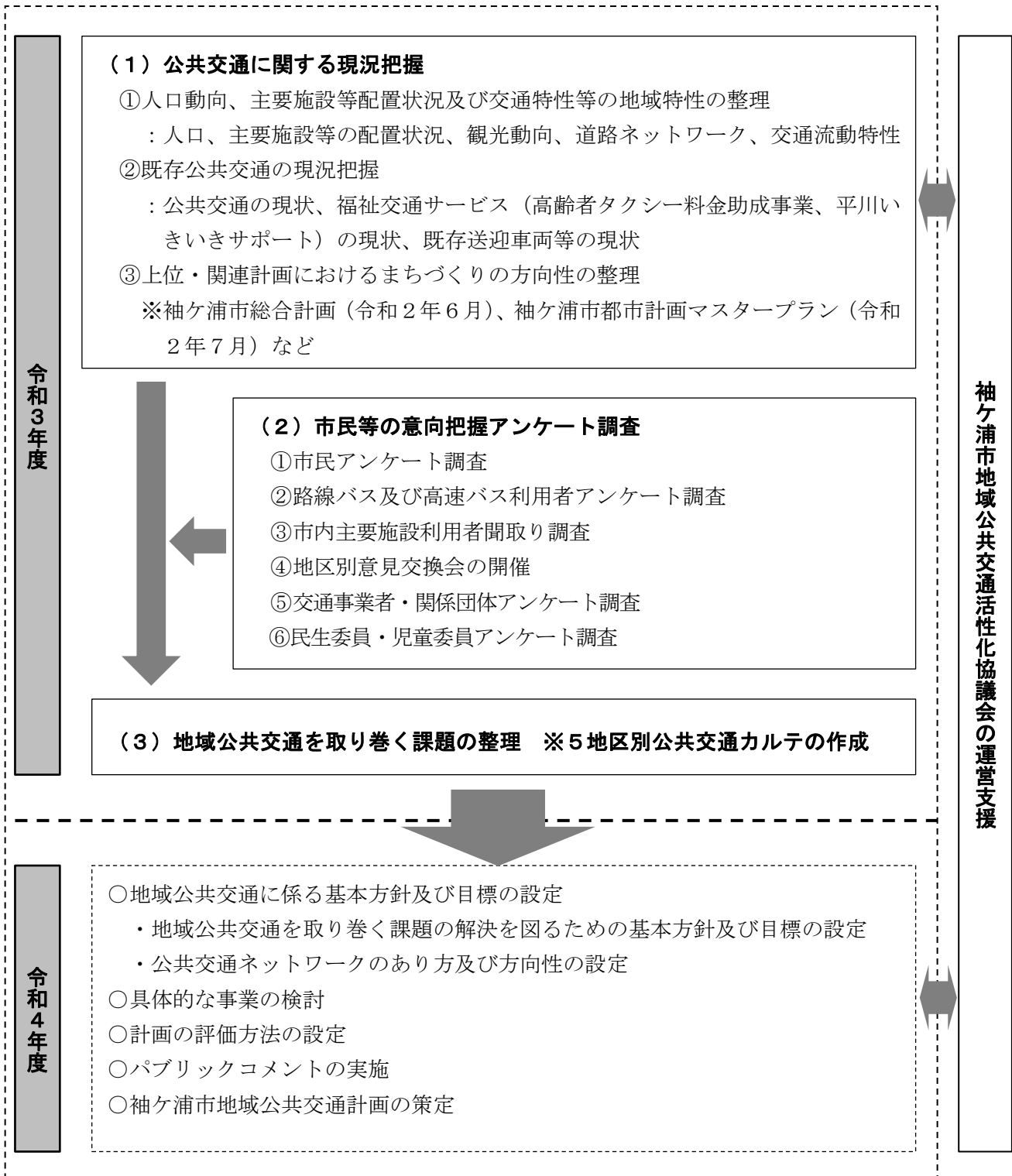


⑩百目木公園(百目木200)



⑪宮田神社(下宮田93)

袖ヶ浦市地域公共交通計画策定調査業務の概要

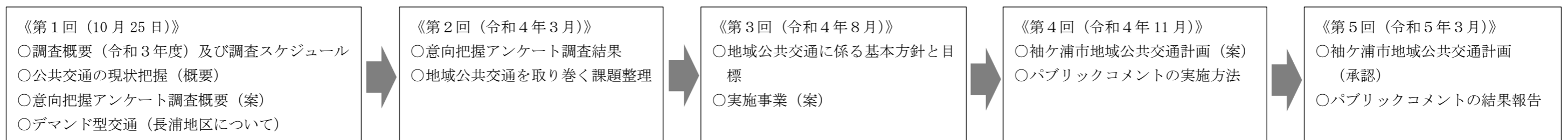


袖ヶ浦市地域公共交通計画策定スケジュール（案）

	令和3年度															令和4年度																	
	10月			11月			12月			1月			2月			3月			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下															
(1) 公共交通に関する現況把握	←→																																
①人口動向、主要施設等配置状況及び交通特性等の地域特性の整理	←→																																
②既存公共交通等の現況把握	←→																																
③上位・関連計画におけるまちづくりの方向性の整理	←→																																
(2) 市民等の意向把握アンケート調査	←→																																
①市民アンケート調査	←→			←→			←→			←→																							
②路線バス及び高速バス利用者アンケート調査	←→			←→			←→			←→																							
③市内主要施設利用者聞き取り調査	←→			←→			←→			←→																							
④地区別意見交換会の開催							←→			←→																							
⑤交通事業者・関係団体アンケート調査	←→			←→			←→			←→																							
⑥民生委員・児童委員アンケート調査	←→			←→			←→			←→																							
(3) 地域公共交通を取り巻く課題の整理										←→																							
(4) 地域公共交通に係る基本方針と目標の設定																←→																	
(5) 具体的な事業の検討																			←→														
(6) 計画の評価方法の設定																						←→											
(7) パブリックコメントに関する支援																									←→								
(8) 地域公共交通計画の策定等																						←→											
(9) 協議会会議の運営支援			10/25																														
			①																														

※調査の実施時期などについては関係機関との協議・調整により今後変更の可能性がある

【袖ヶ浦市地域公共交通活性化協議会の主な議題】



公共交通に関する現況把握

1 人口動向、主要施設等配置状況及び交通特性等の地域特性の整理

(1) 位置・地勢

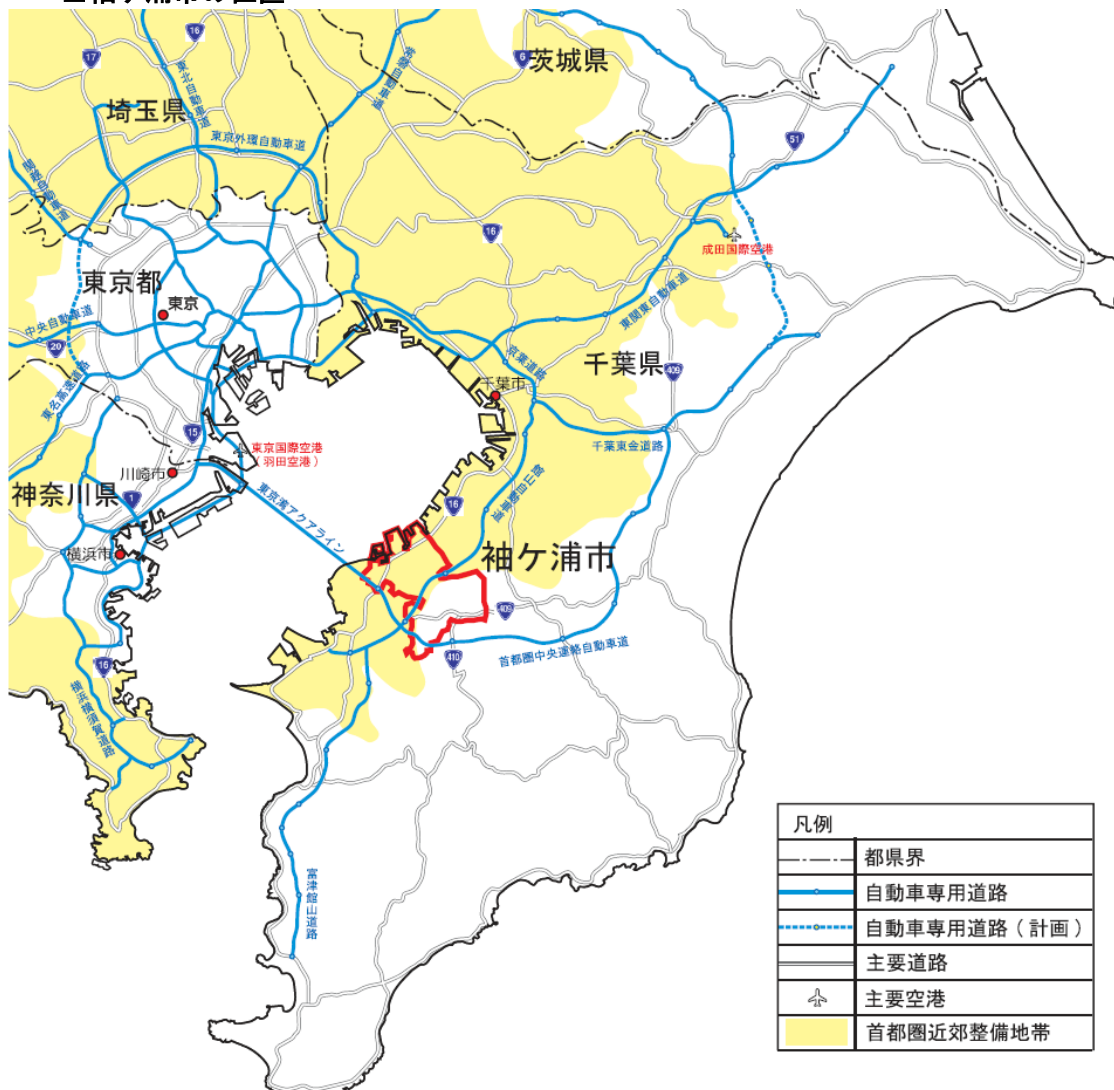
本市は、千葉県の中西部に位置し、北は東京湾、東は市原市、南・西は木更津市に接しており、総面積は 94.93 km²、周囲は 84.5 km で、東西 14.0 km、南北 13.5 km に広がっている。

直線距離で東京都心から約 35 km、千葉市から約 25 km に位置し、袖ヶ浦駅から東京駅まで JR 京葉線で最短約 60 分、千葉駅まで JR 内房線で約 30 分で移動できるほか、東京国際空港（羽田空港）までは最短 22 分で結ばれており、鉄道や高速道路を通じて、主要駅や空港へのアクセスが良好な位置にある。

また、市の臨海部は、京葉工業地域を形成し、石油化学やエネルギー関連企業が多く立地しているほか、内陸部の主に北西部から東部にかけては平坦な丘陵地帯に開けた畑地、南西部から南部にかけては肥沃な水田地帯が広がっている。

さらに、市内では、清澄山系に源を發し市を東西に流れ東京湾に注ぐ小櫃川やその支流である松川、槍水川、武田川のほか、浮戸川、蔵波川等が流れている。

■袖ヶ浦市の位置



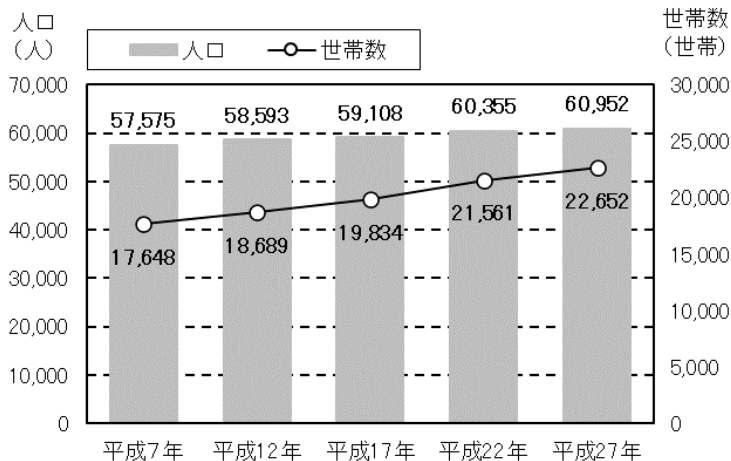
(2) 人口動向

①総人口・世帯数

本市の人口および世帯数の推移をみると、平成7年から増加を続け、平成17年と平成27年と比較すると、3,377人、5,004世帯増加している。1世帯当たりの人員は平成7年の3.26人/世帯から平成27年2.69人/世帯と減少している。

また、令和2年国勢調査の速報集計では、総人口63,906人、世帯数25,370人と同様の傾向が続いている。

■総人口・世帯数の推移



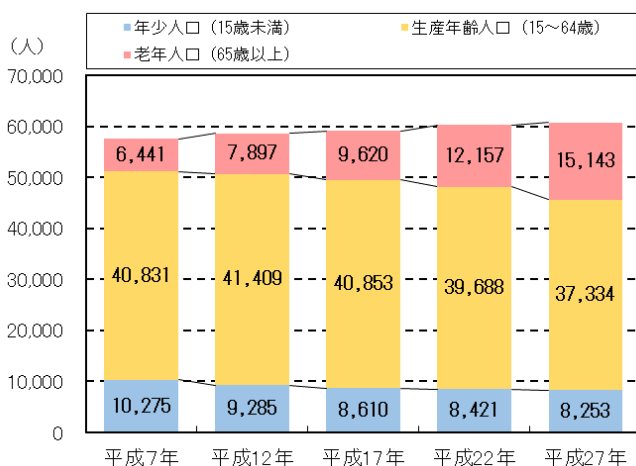
出典：国勢調査（各年10月1日現在）

②年齢3区分別人口

年齢3区分別人口構成比（平成27年）は、年少人口が13.6%、生産年齢人口が61.5%、老年人口が24.9%となっており、推移を見ると、年少人口と生産年齢人口が減少し、老年人口の割合が増加している。

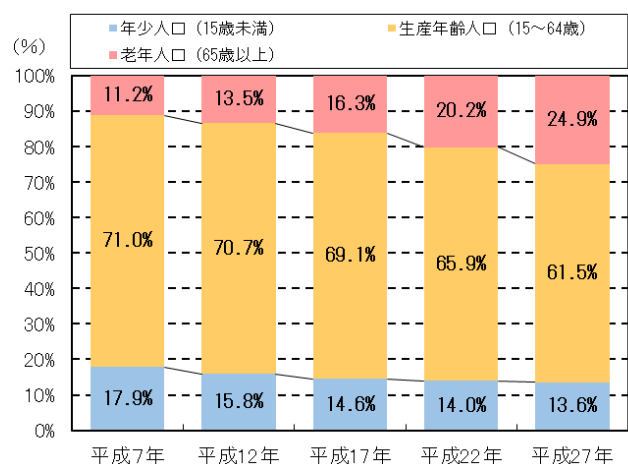
平成27年の高齢化率は24.9%で、国（26.3%）や千葉県（25.5%）と比較するとその割合はまだ高くはない状況となっている。

■年齢3区分別人口の推移



出典：国勢調査（各年10月1日現在）

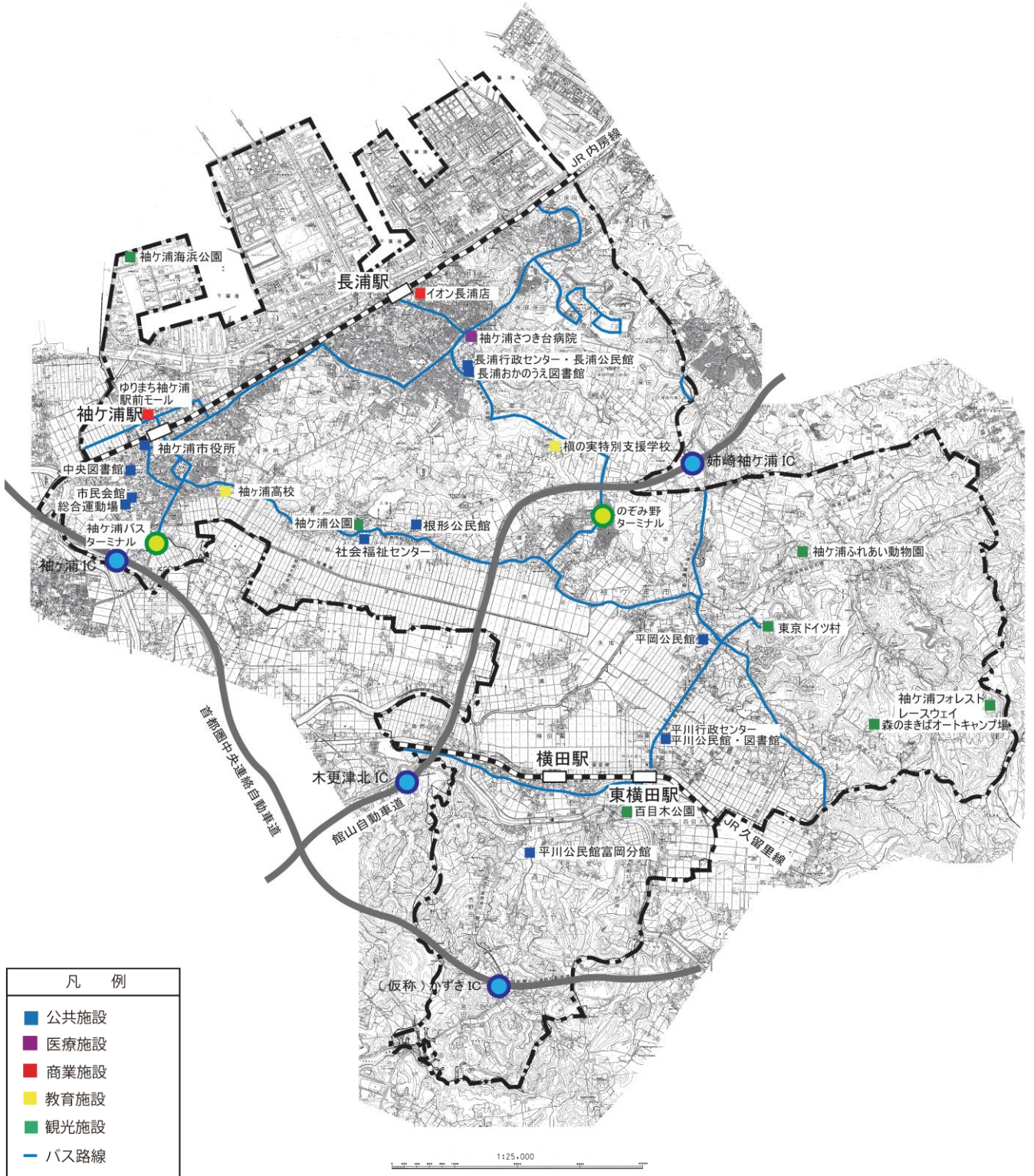
■年齢3区分別人口構成比の推移



(3) 主要施設等分布状況

主要施設については、袖ヶ浦駅周辺に市役所、ゆりまち袖ヶ浦駅前モールが、長浦駅周辺にイオン長浦店など大規模店舗が、また市の東側に東京ドイツ村や袖ヶ浦ふれあい動物園などの観光集客施設が立地している。

■主要施設分布図



(4) 観光動向

本市の年間観光入込客数（令和元年）は約 161 万人と、平成 26 年と比較すると、101%と微増しており、主な施設は、東京ドイツ村（89 万人）や袖ヶ浦公園（20 万人）などで入込数が多い。

君津地域全体では、平成 27 年が約 2,470 万人に対し、令和元年が約 2,538 万人と微増している。

■観光入込客数の推移

	年次	観光地点	行祭事・イベント	合計
袖ヶ浦市	平成 26 年	1,559,356 人/年	36,000 人/年	1,595,356 人/年
	令和元年	1,585,048 人/年	29,000 人/年	1,614,048 人/年
(参考) 君津地域※	平成 26 年	23,575,340 人/年	1,125,280 人/年	24,700,620 人/年
	令和元年	24,763,080 人/年	620,218 人/年	25,383,298 人/年

出典：千葉県観光入込調査報告書

※君津地域：木更津市、君津市、富津市、袖ヶ浦市

(5) 道路ネットワーク

本市の道路網は、東京湾沿いを東西に伸びる国道 16 号を骨格として、複数の東西方向の道路が平行しているところに、内陸部から臨海部に向けて道路が交差する道路ネットワークの形態となっている。また、館山道、圏央道、東京湾アクアライン連絡道が整備されており、広域的な交通拠点となっている。なお、圏央道から君津平川線へ接続する（仮称）かずさ IC の整備促進を図っている。

■主要道路網図



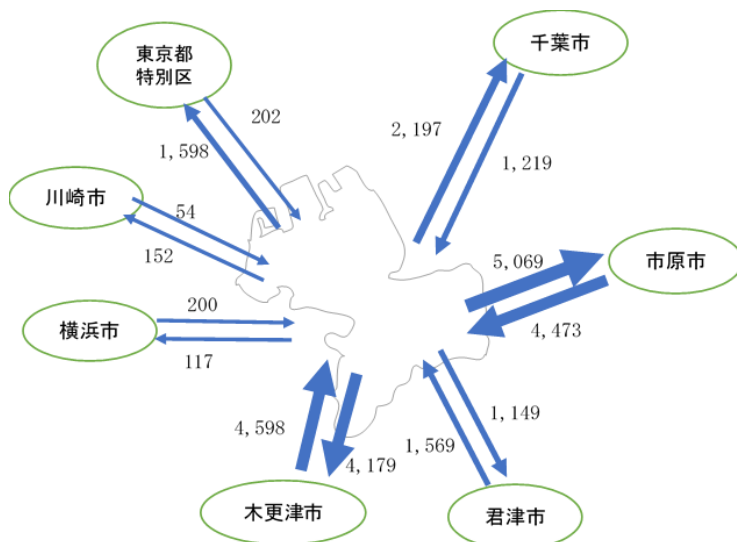
(6) 交通特性

1) 通勤流動

平成 27 年国勢調査によると、本市の就業者数 29,534 人のうち、市内で働いている人が 13,005 人 (44.0%)、市外に通勤している人が 15,982 人 (54.1%) となっている。

また、市外では、市原市へ通勤している人は 5,069 人と最も多く、次いで木更津市へ通勤している人が 4,170 人と多い。

■通勤の状況



出典：平成 27 年国勢調査

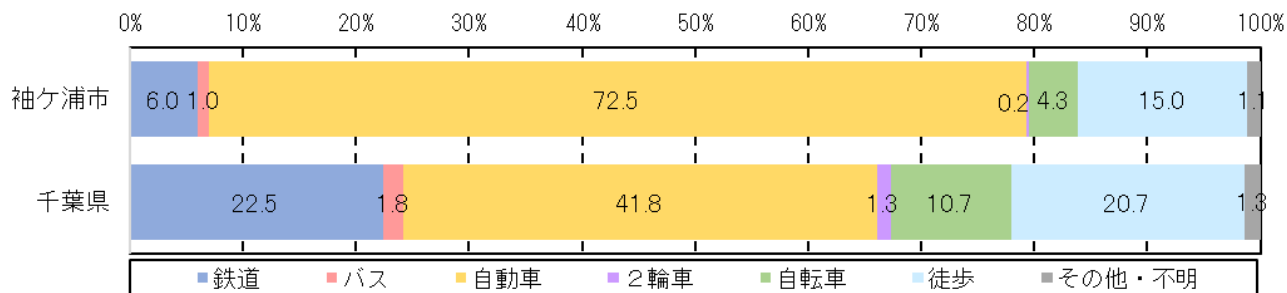
区分	人数	割合	
就業者合計	29,534	—	
通勤先が市内	13,005	44.0%	
通勤先が市外	15,982	54.1%	
内 訳	千葉市	2,197	7.4%
	市原市	5,069	17.2%
	君津市	1,149	3.9%
	木更津市	4,179	14.1%
	県内その他	1,202	4.1%
	特別区部	1,598	5.4%
	横浜市	117	0.4%
	川崎市	152	0.5%
	県外でその他	196	0.7%
	不詳	123	0.4%
不詳	547	1.9%	

2) 東京都市圏パーソントリップ調査による交通手段特性

①代表交通手段

平成 30 年調査での自動車の交通手段分担率は 72.5%と、千葉県平均より高く、また、鉄道、バスといった公共交通の交通手段の分担率は 7.0%と千葉県平均 (24.3%) より低く、自動車依存度が高い。

■平成 30 年・代表交通手段別分担率 (全目的、発生集中交通量)

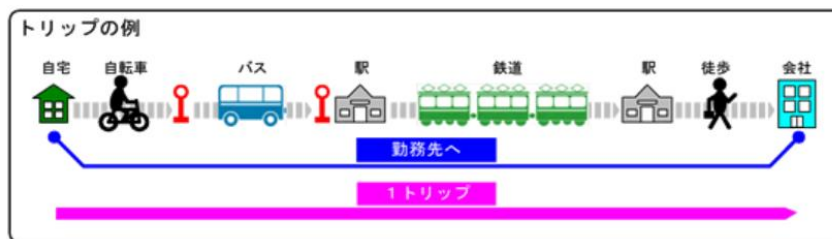


出典：第 6 回東京都市圏パーソントリップ調査

※**トリップ**：人がある目的をもって、ある地点からある地点へと移動する単位をトリップといい、1 回の移動でいくつかの交通手段を乗り換えても 1 トリップと数える。

※**代表交通手段と端末交通手段**：1 つのトリップの中で、幾つかの交通手段を乗り換えた場合、そのトリップの中の主な交通手段を代表交通手段、出発地・目的地と代表交通手段をつなぐ交通手段を端末交通手段という。主な交通手段の集計上の優先順位は、鉄道→バス→自動車→2輪車、徒歩の順としている。

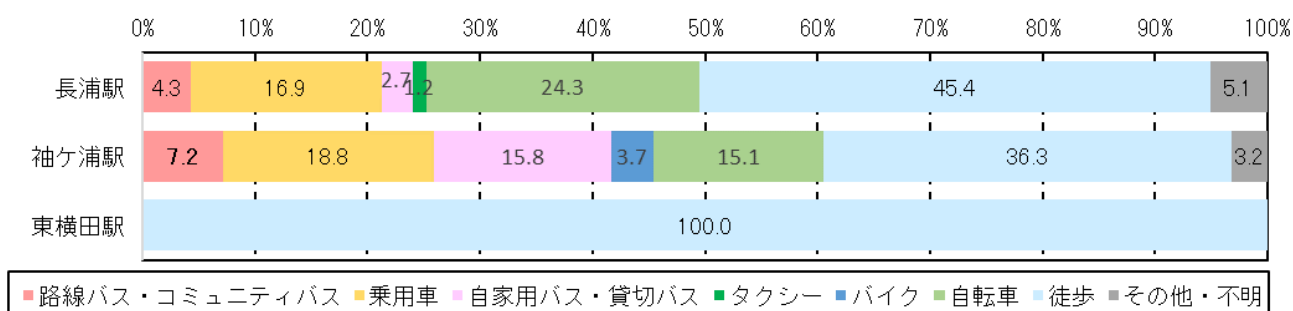
下図の場合、鉄道が代表交通手段で、自宅から〇〇駅までは端末交通手段 (バス)、△△駅から会社までは端末交通手段 (徒歩) となる。



②駅端末交通手段

端末交通手段分担率は、長浦駅では徒歩や自転車が、袖ヶ浦駅では徒歩や乗用車の割合が多く、また東横田駅では全て徒歩となっている。

■平成 30 年・駅別端末交通手段分担率



出典：第 6 回東京都市圏パーソントリップ調査 (横田駅はデータなし)

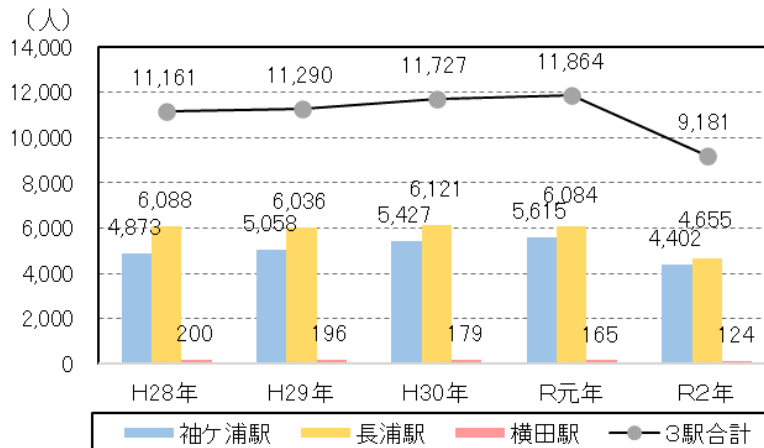
2 既存公共交通の現況把握

(1) 鉄道

市内の鉄道は JR 内房線が南北に、JR 久留里線が東西に走っており、4つの鉄道駅がある。

令和元年度の3駅（袖ヶ浦駅、長浦駅、横田駅）の1日平均乗車人員は11,864人/日で、令和元年度までは年々増加していたが、令和2年度は、9,181人/日と77.4%まで減少している。

■市内鉄道駅の1日平均乗車人員の推移



出典：袖ヶ浦市統計年鑑

※JR 東横田駅は平成19年から乗車人員を公表していない

(2) 路線バス

1) 運行概要

路線バスは、日東交通(株)と小湊鐵道(株)の2社により袖ヶ浦駅および長浦駅を起終点に現在7路線が運行している。なお、中郷・富岡線は路線再編に伴い、袖ヶ浦市内は現在運行されていない。

■各路線の運行概要

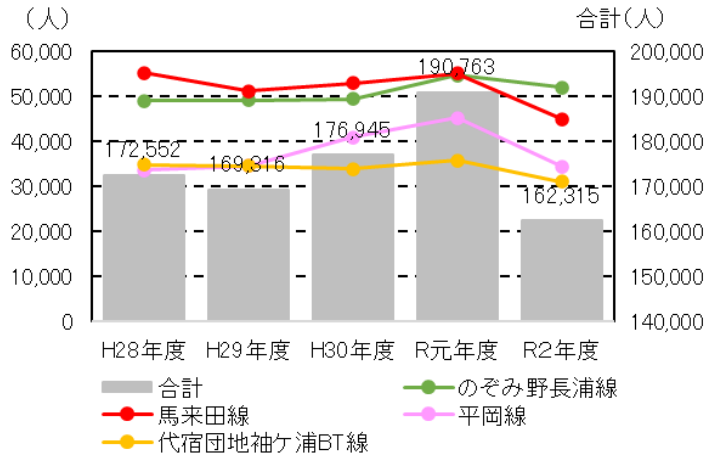
路線名	運行区間	運行会社	便数		
			方向	平日	土休日
平岡線	平日 ①のぞみ野ターミナル～袖ヶ浦駅～袖ヶ浦B T ②ドイツ村～袖ヶ浦駅～袖ヶ浦B T ③平川行政センター～袖ヶ浦駅～袖ヶ浦B T 土休日 ①のぞみ野ターミナル～袖ヶ浦駅～袖ヶ浦B T ②ドイツ村～袖ヶ浦駅～袖ヶ浦B T	日東交通(株)	上り	① 6便 ② 1便 ③ 4便	① 4便 ② 3便
			下り	① 7便 ② 1便 ③ 3便	① 4便 ② 3便
のぞみ野長浦線	のぞみ野南～のぞみ野ターミナル～長浦行政センター前～長浦駅	日東交通(株) 小湊鐵道(株)	上り	14便	9便
			下り	14便	9便
馬来田線	東横田～清川駅前～清見台東～木更津駅東口	日東交通(株)	上り	11便	
			下り	10便	
姉ヶ崎線 ※	①桜台団地～有秋台入口～姉ヶ崎駅前 ②茅野～高谷～平岡小前～上泉～有秋台入口～姉ヶ崎駅前	日東交通(株)	上り	①28便 ②12便	①23便 ②9便
			下り	①25便 ②15便	①21便 ②11便
代宿団地(椎の森工業団地線)袖ヶ浦バスターミナル線	代宿団地～浜宿団地～長浦駅～蔵波台6丁目～袖ヶ浦駅～袖ヶ浦B T 椎の森工業団地～浜宿団地～長浦駅～蔵波台6丁目～袖ヶ浦駅～袖ヶ浦B T	小湊鐵道(株)	上り	9便	
			下り	6便	
		小湊鐵道(株)	上り	3便	
			下り	2便	
長浦駅姉ヶ崎線	①長浦駅～久保田～代宿団地 ②長浦駅～久保田～代宿団地～姉ヶ崎駅西口	小湊鐵道(株)	下り	① 4便 ② 1便	
三井アウトレットパーク木更津～袖ヶ浦駅線	袖ヶ浦駅北口～大袖橋～三井アウトレットパーク	小湊鐵道(株)	上り	59便	
			下り	58便	

※姉ヶ崎線は、上り下りとも、年始のみ運休便、および年始のみ運行便を含んでいる。

2) 利用実績及び運行収支

路線バスうち、補助金対象路線となっている路線(のぞみ野長浦線、馬來田線、平岡線、代宿団地袖ヶ浦 BT 線) の年間利用者数は、令和元年度が 190,763 人/年に対し、令和 2 年度が 162,315 人/年と、減少しており、特に馬來田線と平岡線で顕著に減少している。

■路線別年間利用者数の推移



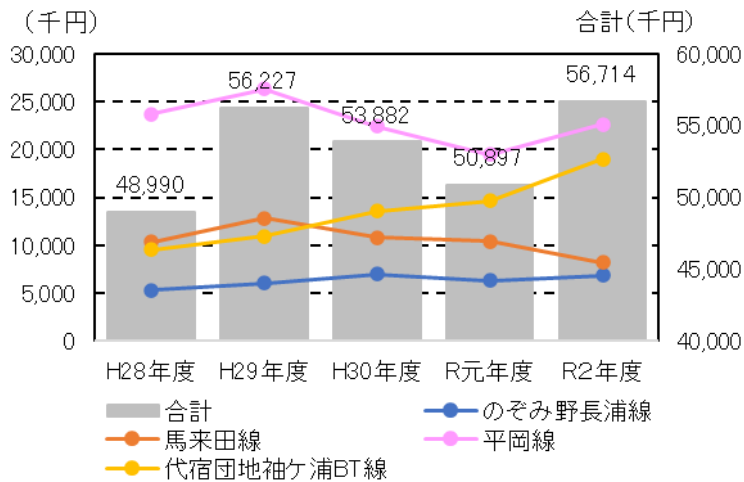
■路線別年間利用者数の推移 (補助金対象路線)

(単位:人)

路線名	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
のぞみ野長浦線	48,968	49,180	49,329	54,708	51,972
馬來田線	55,157	51,098	52,905	55,091	44,935
平岡線	33,609	34,480	40,829	45,217	34,417
代宿団地袖ヶ浦 BT 線	34,818	34,558	33,882	35,747	30,991
合計	172,552	169,316	176,945	190,763	162,315

出典：袖ヶ浦市資料

■年度別運行収支の推移

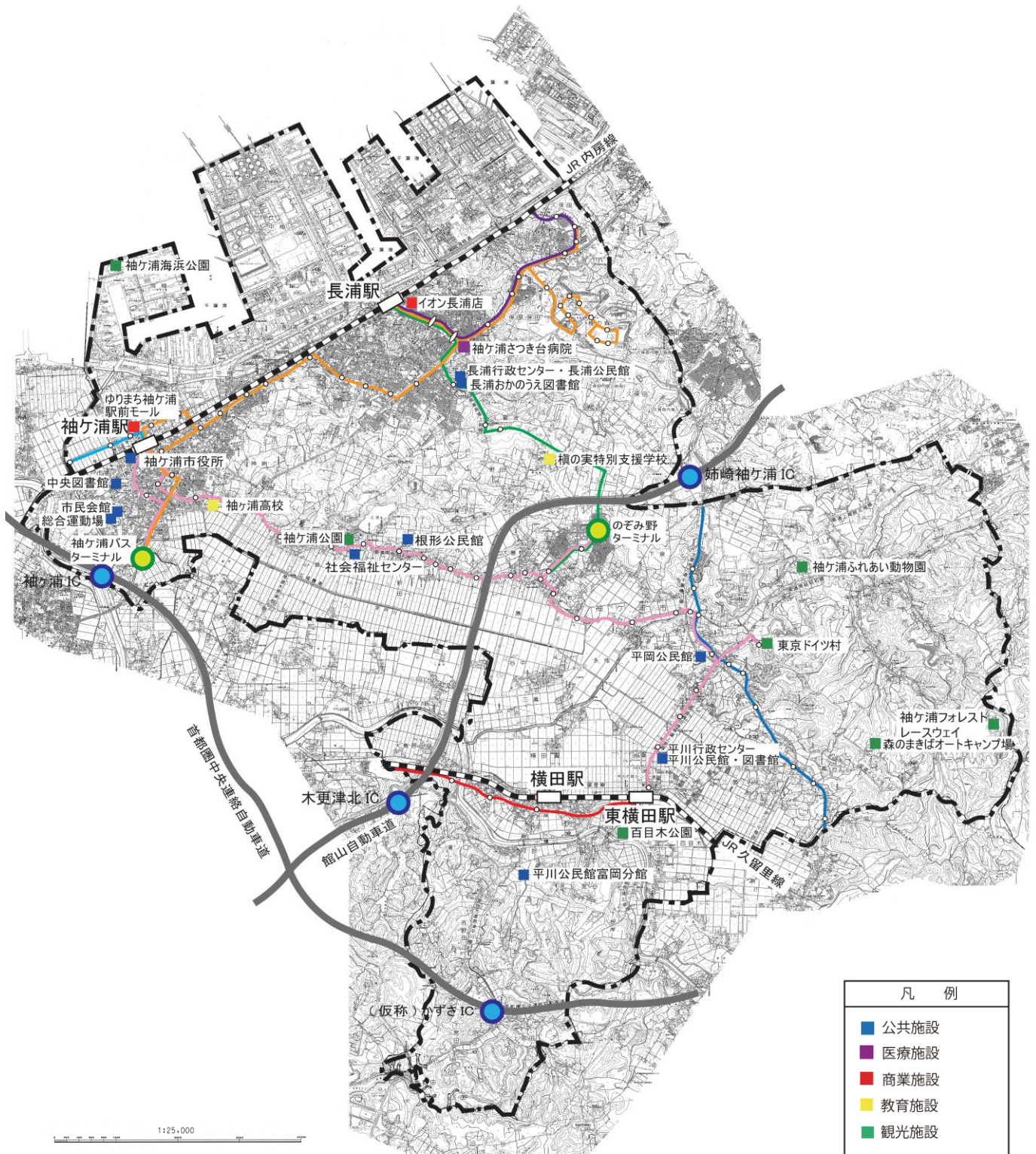


(単位:千円)

路線名	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
のぞみ野長浦線	5,310	6,085	7,020	6,333	6,843
馬來田線	10,386	12,855	10,811	10,460	8,193
平岡線	23,705	26,304	22,445	19,452	22,667
代宿団地袖ヶ浦 BT 線	9,589	10,983	13,606	14,651	19,011
合計	48,990	56,227	53,882	50,897	56,714

出典：袖ヶ浦市資料

■路線バスネットワーク図

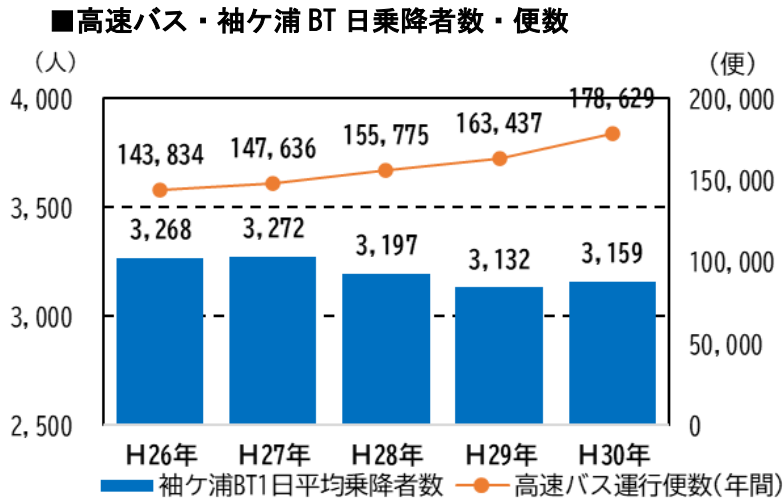


凡 例	
■	公共施設
■	医療施設
■	商業施設
■	教育施設
■	観光施設

—	馬来田線
—	代宿団地（椎の森工業団地）袖ヶ浦バスターミナル線
—	平岡線
—	長浦駅・姉ヶ崎線
—	のぞみ野長浦線
—	姉ヶ崎線
—	三井アウトレットパーク木更津～袖ヶ浦線

(3) 高速バス

高速バスは平成 28 年度から東京線（アクシー号）が、平成 29 年度から東京線（東京ガウライナー）が、平成 30 年度から渋谷線が運行を開始するなど、便数、方面といったサービスが向上しているものの、全体利用者数は横ばい状態となっている。



(4) 平川いきいきサポート

公共交通が不便な平川地区ではこれまで、循環バス「ガウラ号」やデマンド型乗合タクシー「平川おでかけタクシー」といった取組みを実施していたが、利用が伸びず、平成 25 年 11 月から有償ボランティアによる外出支援を行っている。

■平川いきいきサポートサービスの概要

対象者	平川地区の内の高齢者や子育て家庭など、支援が必要な方で会員登録された方（会費月額 500 円）
生活支援サービスの内容	外出支援：通院・買い物等、お出かけの送迎、付き添い 家事支援：・庭木の手入れ、草むしり、電球交換や簡単な修理 等 ふれあい支援：話し相手や見守り 等
運行区域	平岡地区：永地、下泉、高谷、三箇、川原井、林、野里、上泉、永吉、岩井、三箇錯綜 中川富岡地区：百目木、横田、大鳥居、下根岸、阿部、堂谷、打越、大竹、滝の口、吉野田、玉野、上宮田、下宮田、三黒、谷中、真里錯綜、戸国飛地、百目木錯綜、下内橋錯綜、百目木飛地
行先	区域内の商店、病院、金融機関、公共施設、最寄りの公共交通機関
運行日	火曜日・水曜日・金曜日
利用料	外出支援は無料（ただし、ガソリン代等の実費）、家事支援 1 時間まで 700 円で以降超料金として 30 分ごとに 400 円
運行主体	特定非営利活動法人たけのこ

(5) 一般タクシー

市内のタクシー会社は、4社が運行中である。

■タクシー事業者の概要

会社名	所在地	車両保有台数
(有)石原タクシー	袖ヶ浦市横田 2182-1	() 台
姉ヶ崎タクシー(株)	袖ヶ浦市久保田 53-1	() 台
(株)ウルマツアーリングサービス	袖ヶ浦市長浦 2-580-278	() 台
房総タクシー(株)	千葉県袖ヶ浦市奈良輪 2-5-1	() 台

出典：一般社団法人千葉県タクシー協会ホームページ

※※台数はタクシー事業者アンケートにて確認

(6) 高齢者タクシー料金助成事業

市では、居宅で生活する移動手段の確保が困難な高齢者に対し、日常生活に必要な交通手段の確保及び経済的負担の軽減を行うため、タクシーを利用した際の利用料金の一部を助成する事業を行っている。

■高齢者タクシー料金助成事業の概要

対象者	袖ヶ浦市に住民登録をされている世帯で、次のすべての要件に該当する世帯に属する方が対象 (1) 居宅で生活する上で移動手段の確保が困難である世帯に属する方 例：自動車運転免許証を持っていない世帯、車がなく駅やバス停までの移動が困難な世帯等 (2) 75歳以上の者のみで構成される世帯に属する方 (3) 申請した月の属する年度の市町村民税が非課税である世帯に属する方
助成内容	・助成額：500円/枚 ・利用券交付枚数：1人あたり年間最大36枚
利用方法など	市が指定するタクシー事業者の運転者に利用券を提出し、利用料金から助成額を控除した額を支払う。

(7) 送迎バス

市内では病院・医院、教習所などで無料送迎バスを運行している。

■送迎バスの運行概要

施設	運行区間	運行日	便数
袖ヶ浦さつき台 病院	・病院～長浦駅	平日・土曜	3便
	・病院～長浦駅～県営住宅前～すずらん美容室前～病院		15便
	・病院～のぞみ野郵便局～のぞみ野団地～長浦行政センター～病院		4便
田部整形外科	・長浦駅発	平日・土曜	14便※1
	・医院発		16便※1
袖ヶ浦自動車 教習所	木更津方面、長浦方面、根形中郷方面	毎日	平日・土曜：13便 日祝日：11便※2
東京湾カントリー クラブ	行き ・長浦駅発 ・袖ヶ浦バスターミナル発	毎日	7便（定期便） 3便（予約運行）
	帰り ・長浦駅行 ・長浦駅経由袖ヶ浦ターミナル行	毎日	3便 4便
セントラルフィ ットネスクラブ 袖ヶ浦駅前店	Aルート：金田・福王台方面	月・火・水・金	迎え2便 送り2便
	Bルート：長浦・蔵波方面	月・火・水・金	迎え2便 送り2便

※1：火・木・土の午後便は運休

※2：日曜日と祝日は18時台のバス（送り）が最終

8時台のバスは迎えのみ、12時台・19時台・20時台のバスは送りのみ

3 上位・関連計画におけるまちづくりの方向性の整理

(1) 袖ヶ浦市総合計画（令和2年6月）

【計画期間】 基本構想…令和2年度～令和13年度（12年間）

- ・前期基本計画…令和2年度～令和7年度（6年間）
- ・後期基本計画…令和8年度～令和13年度（6年間）

【市が目指す将来の姿】 みんなでつくる 人つどい 緑かがやく 安心のまち 袖ヶ浦

【6つの分野】

- ①子育て環境と学び・活動の場が充実した未来を育むまちづくり（子育て・教育・文化）
- ②支え合いと支援のもとで健やかに暮らせるまちづくり（健康・医療・福祉）
- ③安全・安心で環境にやさしいまちづくり（防災・防犯・環境）
- ④都市と自然が調和した住みやすいまちづくり（都市形成・都市基盤）
- ⑤地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまちづくり（産業）
- ⑥みんながつながり参加する持続可能なまちづくり（市民活動・行財政）



【施策4-7 公共交通】

《目指すまちの姿》

- 市民が安心して暮らしていける日常の移動手段が確保されるとともに、広域的な都市間移動手段も充実し、利便性の高い交通網が形成されています。

《施策の方向性》

- ①都市間交通の利便性確保
 - ・都心とつながる高速バスの路線延伸や増便などについて、事業者に対する要望活動を継続的にを行います。
 - ・高速バスの利用促進に向けたPR活動を積極的に実施します。
 - ・JR内房線、久留里線の利便性向上に向けた要望活動を継続的にを行います。
- ②市内における移動手段確保
 - ・市内での市民の移動手段として必要な路線バスの運行を維持するため、バス事業者への支援を継続するとともに、地域の実情に応じた運行形態・路線の見直しについて、バス事業者と検討します。
 - ・路線バスを維持するため、利用促進に向けたPR活動を行います。
 - ・日常生活の移動手段を確保するため、路線バスを補完する地域内の取組を支援するとともに、新たな移動支援策について検討します。

《成果指標》

指標名	現状値 (令和元年度)	目標値 (令和7年度)
①鉄道交通に満足する市民の割合	54.4%	61.0%
②高速バス交通に満足する市民の割合	69.9%	77.0%
③路線バス交通に満足する市民の割合	28.8%	32.0%

(2) 第2期袖ヶ浦市まち・ひと・しごと創生総合戦略(令和2年3月)

【計画期間】 令和2年度～令和7年度

【基本目標】

基本目標1：結婚・出産・子育ての希望がかなうまち 袖ヶ浦

基本目標2：いきいきと働くことができるまち 袖ヶ浦

基本目標3：訪れる人も満足できるまち 袖ヶ浦

基本目標4：安心して暮らせるまち 袖ヶ浦

共通の目標1：地域がつながり、多様な人材が活躍するまちづくりの推進

共通の目標2：新しい時代の流れを力にするまちづくりの推進

【基本的方向性】

1. 活発でまとまりのある都市づくりの推進

人口減少社会にあっても、市が継続的に成長するためには、長期的な視点に立った都市基盤の整備と、地域と地域を連携し、人と人の交流を支え、新たな価値を生み出す地域づくりを進めることが重要です。

人口減少社会に対応するために、中心市街地や内陸部の住宅地、集落地等の地域特性に応じたコンパクトで良好な市街地の形成と、各拠点間の道路網や交通ネットワークの構築による計画的なまちづくりを進め、集約型都市構造の形成を図ります。

地域社会で必要とされる公共施設等の適正配置・適正規模化等と財政健全化を両立させるための検討を進めます。

事務の効率性や有効性といった観点から、国において広域行政への取組が推進されており、必要に応じて広域連携の取組を進めていきます。

重点施策	重要業績評価指標 (KPI)	
	基準値 (H30)	R7年
都市計画道路の整備率	84.9%	86.7%
路線バス利用者数 (補助路線)	176,945人	178,000人

(3) 袖ヶ浦市都市計画マスタープラン（令和2年7月）

【目標年次】 令和2年～令和13年

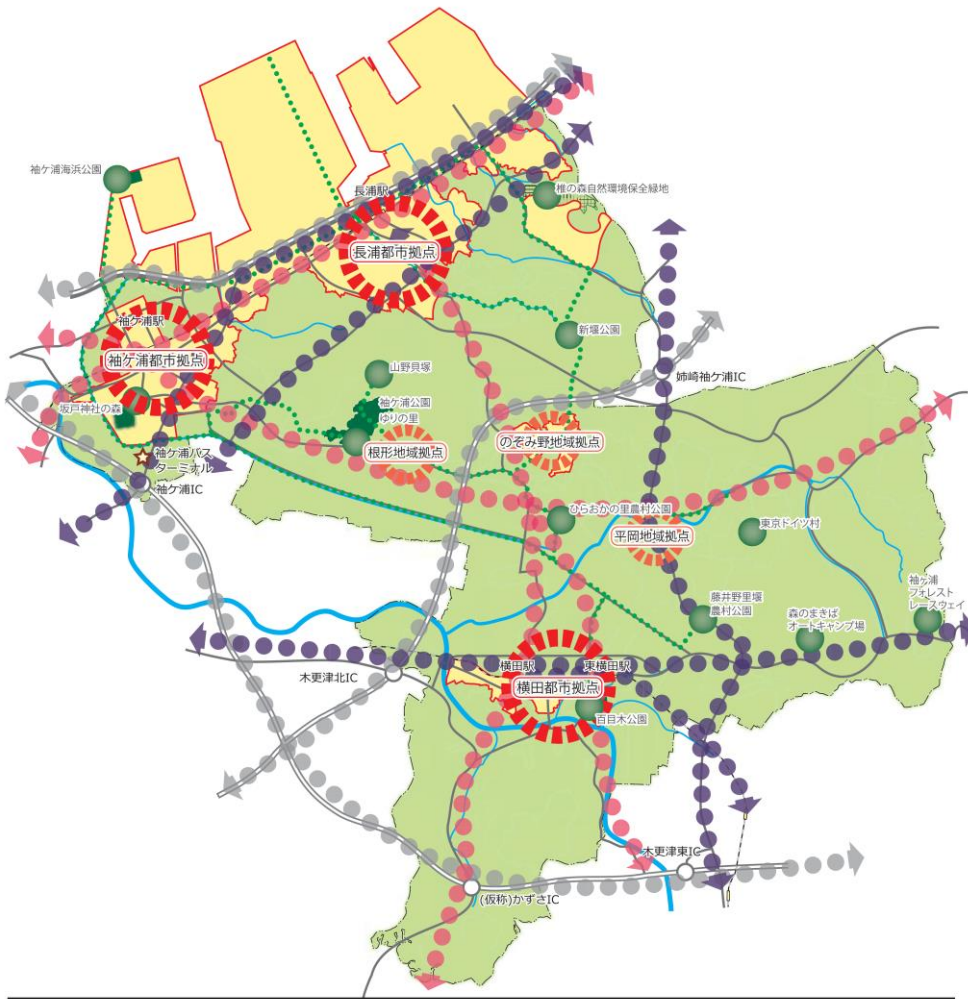
【将来都市像】 みんなでつくる 人つどい 緑かがやく 安心のまち 袖ヶ浦

【将来都市構造】

人々が集い、憩い、活動する場を「拠点」と位置付け、拠点と他都市、又は拠点間を相互に結ぶ交通軸を「都市軸」と位置付け

拠点	都市拠点、地域拠点、交通拠点、緑・レクリエーション拠点
都市軸	広域連携軸、都市間連携軸、地域連携軸

<将来都市構造図>



	都市拠点		市街化区域	
	地域拠点		市街化調整区域	
	緑・レクリエーション拠点		都市公園・都市緑地等	
	広域連携軸		河川	
	都市間連携軸		自動車専用道路及びインターチェンジ(IC)	
	地域連携軸		主要道路	
	水と緑のネットワーク		鉄道及び駅	
	袖ヶ浦バスターミナル			

2 都市施設の整備方針

(3) 公共交通ネットワークの形成方針

①鉄道

- ・公共交通機関としての機能強化を図るとともに鉄道利用者の利便性向上に向けた要望を鉄道事業者に継続して実施します。

②バス

- ・内陸部と臨海部を結ぶ路線など、市民生活の重要な移動手段となっている路線バスの維持と利便性の向上を図るため、バス事業者に運行本数やダイヤの見直しなどの要望を継続して実施します。
- ・高速バスは、更なる利便性の向上を図るため、バス事業者に路線の延伸や運行本数の見直しなどについて要望を継続して実施するとともに、既存バス路線との接続や袖ヶ浦バスターミナルと鉄道駅との結節の強化など移動環境の改善を図ります。

③新たな移動支援策の検討

- ・地域内の移動手段を確保するため、路線バスを補完する地域内の取組を支援するとともに、新たな移動支援策について検討します。

④モビリティマネジメントの推進

- ・公共交通の利便性を向上するため、鉄道やバスの運行時間の調整、鉄道駅やバス停周辺での駐車場・駐輪場の利活用など、公共交通機関の乗り継ぎを円滑にするための取組を推進します。
- ・公共交通の利用を促進するため、公共交通に関する理解や関心を高めるなど、モビリティマネジメントを推進します。

市民等の意向把握アンケート調査概要（案）

調査名	調査のねらい	調査対象者	調査方法等	調査項目
①市民アンケート調査	<ul style="list-style-type: none"> ○市民の外出実態や移動ニーズを把握し、公共交通サービスとのミスマッチを明確化 ○移動の際の困り具合や現在の移動手段等から公共交通の潜在需要の把握 ○市民が求めている利用促進策の把握→実施事業の検討に反映 	15歳以上の市民2,000人 (住民基本台帳による無作為抽出) →全市及び5地区(昭和、長浦、根形、平岡、中川・富岡)ごとに分析	郵送配布、郵送回収	<ul style="list-style-type: none"> ○回答者の属性(居住地、性別、年齢等) ○日常生活の移動実態(行き先、交通手段、外出頻度)、外出時に困ることの有無とその目的、行き先 ○公共交通の利用実態(利用有無、利用特性)と意識・要望(運行サービス満足度、利用しない理由) ○公共交通の維持・確保意向(公共交通の取組みの方向性、財政負担の方向性、効果的な公共交通の利用促進策)
②路線バス及び高速バス利用者アンケート調査	<ul style="list-style-type: none"> ○現行サービス水準と利用ニーズとの乖離を検証し、利用特性や改善点を明確化 ○サービス満足度の把握による目標値設定に活用 	路線バス及び高速バスの利用者	<ul style="list-style-type: none"> ○調査方法 <ul style="list-style-type: none"> ・路線バス利用者：袖ヶ浦駅(南口、北口)、長浦駅南口で調査員による直接ヒアリング+手渡し配布・郵送回収 ・高速バス利用者：袖ヶ浦バスターミナル、袖ヶ浦駅北口で手渡し配布、郵送回収(可能な範囲でヒアリング) ○調査日時：平休日各1日、7:00~19:00 	<ul style="list-style-type: none"> ○利用者の属性 ○路線バス及び高速バスの利用目的、利用頻度 ○運行サービス満足度(便数、運行時間帯、行き先等) ○改善して欲しいサービス
③市内主要施設利用者聞き取り調査	○公共交通への転換可能性や条件の把握(車利用者等で将来利用したい者、免許返納希望者など)	施設利用者(可能な限り、自動車利用者以外)	<ul style="list-style-type: none"> ○調査場所：袖ヶ浦市役所、市民会館、イオン長浦店、長浦行政センター、平川行政センター、ゆりの里(ゆりまち袖ヶ浦駅前モール、袖ヶ浦さつき台病院、東京ドイツ村) ※現在、調査場所については、検討中(最大6箇所) ○調査日時：平日1日(観光施設のみ休日)、9:00~17:00(施設の時間等を考慮) ○調査方法：調査員による直接ヒアリング 	<ul style="list-style-type: none"> ○利用者の属性、自動車保有状況、運転免許返納意向 ○施設への利用交通手段、利用頻度 ○施設へ移動する際の不便度(困り具合)やその理由 ○公共交通を利用する際の条件
④地区別意見交換会	<ul style="list-style-type: none"> ○潜在的な移動ニーズや移動する際の困り具合の明確化 ○地域での協働の取組みの可能性検討に活用 	自治会代表者、関係団体代表者(PTA、老人クラブ等)、民生委員・児童委員など(1地区10名程度)	<ul style="list-style-type: none"> ○調査方法：ワークショップ(新型コロナウイルス感染症状況によりオンライン会議の開催も検討) ※昭和、長浦、根形、平岡、中川・富岡 ○実施回数：各地区1回(令和4年1~2月) 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の公共交通の現状報告(地区別公共交通カルテ)、日常的な移動実態や困りごと ○公共交通の課題や要望 ○公共交通を維持するために地域・自分たちができること
⑤交通事業者・関係団体アンケート調査	<ul style="list-style-type: none"> ○公共交通の実態を把握し、課題整理や方向性の検討に活用 ○まちづくりとの連携の可能性を把握し、公共交通の利用促進方策の検討へ反映 	【交通事業者】 <ul style="list-style-type: none"> ○高速バス：小湊鐵道(株)、日東交通(株)、京成バス(株) ○路線バス：小湊鐵道(株)、日東交通(株) ○タクシー：房総タクシー(株)、(有)石原タクシー、姉ヶ崎タクシー(株)、(株)ウルマツアーリングサービス 【関係団体】 : 商工会、観光協会、社会福祉協議会	○調査方法：調査票をメールかFAXで送付・回収	【交通事業者】 <ul style="list-style-type: none"> ○利用者の特性や新型コロナウイルスによる影響 ○現在抱えている課題(乗務員高齢化、不足等) ○行政と事業者が協働で実施したい施策、行政への要望 【関係団体】 <ul style="list-style-type: none"> ○商業、観光などまちづくりを取り巻く問題点 ○公共交通と協力・連携した取組みや事業可能性 ○公共交通に対する改善点、要望
⑥民生委員・児童委員アンケート調査	○交通弱者(相談相手)の困り具合や公共交通の必要性を把握し、課題整理に活用	民生委員・児童委員96人 (昭和地区24人、蔵波地区25人、長浦地区17人、東部地区30人)	○調査方法：郵送配布、郵送回収	<ul style="list-style-type: none"> ○相談相手の移動実態(手段、行き先)、日常生活の困りごとや問題点、ニーズ ○外出する際の困り具合・不便度 ○公共交通と協力・連携の可能性

公共交通に関する市民アンケート調査票

1 あなた（回答者）ご自身についてお聞きします。

問 1. あなたご自身のことについてお聞きします。（それぞれ 1 つに○印）

1)お住まい	①昭和地区 ②長浦地区 ③根形地区 ④平岡地区 ⑤中川・富岡地区
2)性別	①男性 ②女性
3)年齢	①10 歳代 ②20 歳代 ③30 歳代 ④40 歳代 ⑤50 歳代 ⑥60 歳代 ⑦70 歳以上
4)職業	①会社員・公務員 ②自営業 ③学生 ④専業主婦（夫） ⑤パート・アルバイト ⑥無職 ⑦その他（ ）
5)自動車運転免許	①ある ②ない ③運転免許返納済
6)自動車運転免許 ※ 5) で①回答者で満 65 歳以上の方のみ	①近いうち免許を返納する ②今は返納するつもりはないが、将来は返納する ③免許を返納するつもりはない
7)返納しない理由 ※ 6) で③と回答した 方のみ	①車がないと日常生活が不便なため ②車を運転する楽しみが失われるため ③仕事に支障があるため ④その他（ ）
8)自動車の所有状況	①自動車あり（自分が自由に使える） ②自動車あり（自分が自由に使えない） ③自動車なし
9)最寄りバス停までの徒 歩での所要時間	① 5 分未満 ② 5～10 分未満 ③ 10～15 分未満 ④ 15～20 分未満 ⑤ 20 分以上 ⑥ わからない

2 日常の移動のしやすさについてお聞きします。

問 2. 普段、外出する時に交通手段がなくて困ることがありますか。（1 つに○印）

①困ることがよくある ②困ることがたまにある ③困ることはない

→「③困ることはない」と回答された方は問 4 へお進みください

問 3. 問 2 で「①困ることがよくある」、「②困ることがたまにある」とお答えの方にお聞きします。

(1) どのような目的で外出する時に困ることが多いですか。（2 つまでに○印）

①通勤 ②通学 ③買い物 ④通院 ⑤公共施設利用
⑥金融機関利用 ⑦遊び・趣味・習い事など ⑧その他（ ）

(2) どこに行く時が困りますか。(3つまでに○印)

①袖ヶ浦駅	②長浦駅	③バスターミナル	④袖ヶ浦さつき台病院
⑤ゆりまち袖ヶ浦駅前モール	⑥イオン長浦店	⑦尾張屋長浦店	
⑧ビバホーム長浦店	⑨のぞみ野マルシェ	⑩上総路なごみ館	
⑪尾張屋横田店	⑫コメリハード&グリーン横田店	⑬主婦の店福王台店	
⑭袖ヶ浦市役所	⑮長浦行政センター	⑯平川行政センター	
⑰市民会館	⑰総合運動場	⑱その他 ()	

3 日常の外出行動についてお聞きします。

問4. 日常の買い物についてお聞きします。

(1) 買い物に行く頻度をお聞きします。(1つに○印)

①ほぼ毎日	②週に3～4日	③週に1～2日	④月に2～3日程度
⑤ほとんど行かない	⑥その他 ()		

(2) 最もよく行く買い物先の場所をお聞きします。(1つに○印)

①ゆりまち袖ヶ浦駅前モール	②イオン長浦店	③尾張屋長浦店
④ビバホーム長浦店	⑤のぞみ野マルシェ	⑥上総路なごみ館
⑦尾張屋横田店	⑧コメリハード&グリーン横田店	
⑨主婦の店福王台店	⑩その他の市内 (店舗名:)	
⑪他市町村 ()	市町村)	

(3) 買い物に行く時に利用する交通手段をお聞きします。(該当するもの全てに○印)

①鉄道 → 【ア.袖ヶ浦駅 イ.長浦駅 ウ.横田駅 エ.東横田駅 オ.その他 () 駅】			
②高速バス	③路線バス	④タクシー	⑤自家用車
⑥家族や知人等の車で送迎	⑦バイク (原付を含む)	⑧自転車	
⑨徒歩	⑩その他 ()		

問5. 病院の利用についてお聞きします。

(1) 病院に行く頻度をお聞きします。(1つに○印)

①ほぼ毎日	②週に3～4日	③週に1～2日	④月に2～3日程度
⑤体調が悪いときのみ	⑥その他 ()		

(2) 最もよく行く病院をお聞きします。(1つに○印)

①袖ヶ浦さつき台病院	②その他の市内 (医療機関名:)
③市外 (市町村名:)	(医療機関名:)

(3) 病院に行く時に利用する交通手段をお聞きします。(該当するもの全てに○印)

①鉄道 → 【ア.袖ヶ浦駅 イ.長浦駅 ウ.横田駅 エ.東横田駅 オ.その他 () 駅】			
②高速バス	③路線バス	④タクシー	⑤自家用車
⑥家族や知人等の車で送迎	⑦バイク (原付を含む)	⑧自転車	
⑨徒歩	⑩その他 ()		

問 6. 通勤・通学についてお聞きます。 →通勤・通学されていない方は問 7 へお進みください

(1) 通勤・通学の頻度をお聞きます。(1つに○印)

- ①週に5日以上 ②週に3～4日 ③週に1～2日
④月に2～3日程度 ⑤その他 ()

(2) 通勤・通学先をお聞きます。(1つに○印)

- ①市内 ②千葉市 ③市原市 ④君津市 ⑤木更津市
⑥その他の県内 (市町村) ⑦県外 () 都道府県

(3) 通勤・通学時に利用する交通手段をお聞きます。(該当するもの全てに○印)

- ①鉄道 → 【ア.袖ヶ浦駅 イ.長浦駅 ウ.横田駅 エ.東横田駅 オ.その他 (駅)】
②高速バス ③路線バス ④タクシー ⑤自家用車
⑥家族や知人等の車で送迎 ⑦バイク (原付を含む) ⑧自転車
⑨徒歩 ⑩その他 ()

4 鉄道 (JR 内房線、JR 久留里線) についてお聞きます。

問 7. あなたは、どのくらいの頻度で鉄道を利用されますか。(1つに○印)

- ①週に5日以上 ②週に3～4日 ③週に1～2日 ④月に2～3日程度
⑤年に数日程度 ⑥鉄道は利用しない ⑦その他 ()

→「⑥鉄道は利用しない」と回答された方は問 11 へお進みください

問 8. どの駅をよく利用しますか。(1つに○印)

- ①袖ヶ浦駅 ②長浦駅 ③横田駅 ④東横田駅 ⑤その他 (駅)

問 9. 鉄道を利用される際の、主な利用目的は何ですか。(2つまでに○印)

- ①通勤 ②通学 ③買い物 ④通院 ⑤公共施設利用
⑥金融機関利用 ⑦遊び・趣味・習い事など ⑧その他 ()

問 10. 問 7 で「⑥鉄道は利用しない」と回答した方にお聞きます。

鉄道をご利用されていない主な理由は何ですか。(3つまでに○印)

- ①利用する用事が特にないから ②自動車のほうが便利だから
③高速バスのほうが便利だから ④運賃が高いから
⑤駅までの交通手段がないから ⑥使いたい時間に鉄道が運行していないから
⑦駅周辺に駐車場がないから ⑧鉄道の利用方法がわからないから
⑨その他 ()

問 11. 市内で運行中の鉄道の運行サービスについて、①～④項目ごとにあなたのお考えに最もあてはまる番号それぞれ 1 つに○印をつけてください。

鉄道の運行サービス	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない
①運行本数・運行時間帯	1	2	3	4	5
②時刻表・路線図などの運行情報案内	1	2	3	4	5
③駅舎の快適さ（バリアフリーなど）	1	2	3	4	5
④鉄道・バスとの乗り継ぎのしやすさ	1	2	3	4	5

5 高速バスについてお聞きします。

問 12. あなたは、どのくらいの頻度で高速バスを利用されますか。（1 つに○印）

- ①週に5日以上 ②週に3～4日 ③週に1～2日 ④月に2～3日程度
⑤年に数日程度 ⑥その他（ ） ⑦高速バスは利用しない

→「⑦高速バスは利用しない」と回答された方は問 14 へお進みください

問 13. 高速バスを利用される際の、主な利用目的は何ですか。（2 つまでに○印）

- ①通勤 ②通学 ③買い物 ④通院 ⑤公共施設利用
⑥金融機関利用 ⑦遊び・趣味・習い事など ⑧その他（ ）

問 14. 問 12 で「⑦高速バスは利用しない」と回答した方にお聞きします。

高速バスをご利用されていない主な理由は何ですか。（3 つまでに○印）

- ①高速バスを利用する用事が特にないから ②自動車の方が便利だから
③鉄道のほうが便利だから ④運賃が高いから
⑤バス停までが遠いから ⑥利用したい時間に運行していないから
⑦バス停までの交通手段がないから ⑧バス停周辺に駐車場がないから
⑨高速バスの利用方法がわからないから ⑩その他（ ）

問 15. 高速バスの運行サービスについて、①～④項目ごとにあなたのお考えに最もあてはまる番号それぞれ 1 つに○印をつけてください。

高速バスの運行サービス	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない
①運行本数・運行時間帯	1	2	3	4	5
②運行ルート（行き先など）	1	2	3	4	5
③鉄道・バスとの乗り継ぎのしやすさ	1	2	3	4	5
④時刻表・路線図などの運行情報案内	1	2	3	4	5

6 路線バスについてお聞きします。

問 16. あなたは、どのくらいの頻度で路線バスを利用されますか。(1つに○印)

- ①週に5日以上 ②週に3～4日 ③週に1～2日 ④月に2～3日程度
⑤年に数日程度 ⑥路線バスは利用しない ⑦その他()

→「⑥路線バスは利用しない」と回答された方は問 18 へお進みください

問 17. 路線バスを利用される際の、主な利用目的は何ですか。(2つまでに○印)

- ①通勤 ②通学 ③買い物 ④通院 ⑤公共施設利用
⑥金融機関利用 ⑦遊び・趣味・習い事など ⑧その他()

問 18. 問 16 で「⑥路線バスは利用しない」と回答した方にお聞きします。

路線バスをご利用されていない主な理由は何ですか。(3つまでに○印)

- ①利用する用事が特にないから ②自動車のほうが便利だから
③鉄道のほうが便利だから ④タクシーのほうが便利だから
⑤運賃が高いから ⑥自宅の近くにバス停がないから
⑦目的地に行くバスがないから ⑧使いたい時間にバスが運行していないから
⑨バスの利用方法がわからないから ⑩その他()

問 19. 市内で運行中の路線バスの運行サービスについて、①～⑥項目ごとにあなたのお考えに最もあてはまる番号それぞれ1つに○印をつけてください。

路線バスの運行サービス	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない
①運行本数	1	2	3	4	5
②運行時間帯	1	2	3	4	5
③運行ルート(行き先)	1	2	3	4	5
④運賃	1	2	3	4	5
⑤他のバスや鉄道との乗り継ぎのしやすさ	1	2	3	4	5
⑥時刻表・路線図などの運行情報案内	1	2	3	4	5

7 タクシーについてお聞きします。

問 20. あなたは、どのくらいの頻度でタクシーを利用されますか。(1つに○印)

- ①週に5日以上 ②週に3～4日 ③週に1～2日 ④月に2～3日程度
⑤年に数日程度 ⑥タクシーは利用しない ⑦その他()

→「⑥タクシーは利用しない」と回答された方は問 22 へお進みください

問 21. タクシーを利用される際の、主な利用目的は何ですか。(2つまでに○印)

- ①通勤 ②通学 ③買い物 ④通院 ⑤公共施設利用
⑥金融機関利用 ⑦遊び・趣味・習い事など ⑧その他()

問 22. タクシーのサービスについて、①～④項目ごとにあなたのお考えに最もあてはまる番号それぞれ1つに○印をつけてください。

タクシーのサービス	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない
①利用のしやすさ（電話での呼び出しなど）	1	2	3	4	5
②運賃	1	2	3	4	5
③車両の乗り心地・乗りやすさ	1	2	3	4	5
④料金・サービスなどの運行情報案内	1	2	3	4	5

8 公共交通の利用意向についてお聞きします。

問 23. もし、買い物や通院などの目的地へ直接移動できるバスなどの公共交通機関が運行されていたら、行きたいと思う場所を下の【表1】から3つまで選び、【表2】にそれぞれの番号をご記入ください。次に、それぞれの「利用目的・利用頻度」について、該当するもの1つに○印をつけてください。「利用時間帯」は数値（1～24時）をご記入ください。

【表1（主な主要施設一覧）】

①袖ヶ浦駅	②長浦駅	③袖ヶ浦バスターミナル	④袖ヶ浦さつき台病院
⑤ゆりまち袖ヶ浦駅前モール	⑥イオン長浦店	⑦尾張屋長浦店	
⑧ビバホーム長浦店	⑨のぞみ野マルシェ	⑩上総路なごみ館	
⑪尾張屋横田店	⑫コメリハード&グリーン横田店	⑬主婦の店福王台店	
⑭袖ヶ浦市役所	⑮長浦行政センター	⑯平川行政センター	
⑰市民会館	⑱総合運動場	⑲その他※	

【表2】

	最も行きたい場所	2番目に行きたい場所	3番目に行きたい場所
上記表1 の番号と施設名	() ※「⑲その他」を選択した場合、番号及び施設名をご記入ください	() ※「⑲その他」を選択した場合、番号及び施設名をご記入ください	() ※「⑲その他」を選択した場合、番号及び施設名をご記入ください
利用目的 (1つに○)	①通勤 ②通学 ③買い物 ④通院 ⑤公共施設利用 ⑥趣味・娯楽・習い事 ⑦金融機関利用 ⑧その他 ()	①通勤 ②通学 ③買い物 ④通院 ⑤公共施設利用 ⑥趣味・娯楽・習い事 ⑦金融機関利用 ⑧その他 ()	①通勤 ②通学 ③買い物 ④通院 ⑤公共施設利用 ⑥趣味・娯楽・習い事 ⑦金融機関利用 ⑧その他 ()
利用頻度 (1つに○)	①週に5日以上 ②週に3～4日 ③週に1～2日 ④月に2～3日 ⑤年に数日 ⑥その他 ()	①週に5日以上 ②週に3～4日 ③週に1～2日 ④月に2～3日 ⑤年に数日 ⑥その他 ()	①週に5日以上 ②週に3～4日 ③週に1～2日 ④月に2～3日 ⑤年に数日 ⑥その他 ()
利用時間帯 (1～24時)	自宅を出発()時頃 帰宅()時頃	自宅を出発()時頃 帰宅()時頃	自宅を出発()時頃 帰宅()時頃

9

公共交通の今後のあり方についてお聞きします。

公共交通の現状

市の公共交通は鉄道、路線バスなどが運行中ですが、今後、人口減少・少子高齢化などにより利用者が減少し、減便や廃止などの恐れがあります。

現在、市では、利用者の運賃だけでは採算が取れない路線の赤字分を負担しており、令和2年度の公共交通全体に対する市の費用負担額は、年間約56,714千円（市民一人当たり約887円）で、利用者の減少によりその負担額は年々増加傾向にあります。

問 24. 鉄道、路線バス、タクシーなどの公共交通は、今後どのような方向で取り組む必要があるとお考えですか。（1つに○印）

- ①人口減少などの社会状況の変化により、公共交通が縮小していくのはやむを得ない
- ②現状の公共交通を維持していくべきだ
- ③公共交通を現状よりも充実させて、利用促進を図るべきだ
- ④わからない
- ⑤その他（)

問 25. 市の公共交通に対する財政負担（税金投入）は、今後どのようにしていくべきと思いますか。（1つに○印）

- ①財政負担を大幅に増やし、もっと公共交通を充実させるべきだ
- ②財政負担をある程度は増やし、もう少し公共交通を充実させるべきだ
- ③今の財政負担程度のなかで、今の公共交通の見直しを行うべきだ
- ④今の財政負担程度のなかで、今の公共交通をそのまま維持すべきだ
- ⑤財政負担を減らし、利用者（受益者）負担を増やすことで今の公共交通を維持すべきだ
- ⑥財政負担を減らし、今の公共交通を縮小すべきだ
- ⑦その他（)

問 26. 今後、公共交通の利用を促進するためには、どのような取り組みが効果的だと思いますか。（3つまでに○印）

- ①高速バスや路線バスなどのルートや時刻表などを掲載した公共交通マップの作成・配布
- ②市のホームページや広報紙などへの運行情報案内の掲載
- ③パソコン・スマートフォンなどへの時刻表、乗継情報などの提供
- ④観光施設や商業施設などと連携した公共交通割引チケットなどの発行
- ⑤公共交通利用の意識を高めるための講演会やバスの乗り方教室などの開催
- ⑥バス停の待合環境（ベンチ・上屋）整備や運行情報案内（時刻表・系統図など）の表示改善
- ⑦駅やバス停付近への駐車場・駐輪場の設置
- ⑧鉄道やバス、バス同士の乗継時間の短縮や運賃割引の導入
- ⑨バス車両のバリアフリー化やデザインの工夫
- ⑩自動車運転免許証返納者への公共交通割引など制度の拡充
- ⑪その他（)

袖ヶ浦市高速バス利用者アンケート調査票

問1. あなたご自身についてお聞きます。(それぞれ1つに○印)

1)性別	①男性 ②女性 ③無回答	2)年齢	() 歳代
3)職業	①会社員・公務員 ②自営業 ③学生 ④専業主婦(夫) ⑤パート・アルバイト ⑥無職 ⑦その他()		
4)住まい	①袖ヶ浦市内() 字名 ②袖ヶ浦市外() 市区町村		

問2. 本日までご利用の高速バスの利用状況についてお聞きます。

1)本日の主な利用目的(2つまでに○)	①通勤 ②通学 ③買い物 ④通院 ⑤公共施設利用 ⑥遊び・趣味・習い事など ⑦業務 ⑧その他()
2)乗降路線(1つ○)	①羽田空港方面 ②横浜駅方面 ③川崎駅方面 ④品川駅方面 ⑤新宿駅方面 ⑥東京駅方面 ⑦渋谷駅方面 ⑧鴨川方面
3)高速バスの利用頻度(1つ○)	①週に5日以上 ②週に3~4日 ③週に1~2日 ④月に2~3日 ⑤月に1日 ⑥年に数日 ⑦その他()

問3. 袖ヶ浦バスターミナルまで(から)の利用交通手段についてお聞きます。(該当するもの全てに○印)

①路線バス ②タクシー ③自家用車 ④家族や知人等の車で送迎 ⑤バイク(原付含む) ⑥自転車 ⑦徒歩 ⑧その他()

問4. 本日までご利用の高速バスの運行サービスの各項目について、あなたのお考えに最もあてはまる番号それぞれ1つに○印をつけて下さい。①~④すべてにお答え下さい。

	満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満
①運行本数・運行時間帯	1	2	3	4	5
②運行ルート(行き先など)	1	2	3	4	5
③鉄道・バスとの乗り継ぎのしやすさ	1	2	3	4	5
④時刻表・路線図などの運行情報案内	1	2	3	4	5

問5. 袖ヶ浦市内で運行中の高速バスについて、より多くの方々に利用して頂くためには、どのような取組が効果的だと思いますか。(3つまでに○)

①運行ルート(行き先)の変更・見直し → 具体的行き先: () ②便数増便 → (方面:) ③運行時間帯の拡大(始発、終発) ④運行情報案内(公共交通総合マップ等)の充実 ⑤駅と袖ヶ浦バスターミナルとの路線バスの充実 ⑥売店・コンビニの設置(袖ヶ浦バスターミナル) ⑦駐車場・駐輪場の拡充 ⑧地域の情報発信機能の充実 ⑨その他()
--

最後に袖ヶ浦市の高速バスに関するご意見・ご要望がありましたら記入をお願いします。

--

ご協力ありがとうございました

袖ヶ浦市路線バス利用者アンケート調査票

問1. あなたご自身についてお聞きます。(それぞれ1つに○印)

1)性別	①男性 ②女性 ③無回答	2)年齢	() 歳代
3)職業	①会社員・公務員 ②自営業 ③学生 ④専業主婦(夫) ⑤パート・アルバイト ⑥無職 ⑦その他()		
4)住まい	①袖ヶ浦市内()字名 ②袖ヶ浦市外()市区町村		

問2. 本日までご利用の路線バスの利用状況についてお聞きます。

1)本日の主な利用目的(2つまでに○)	①通勤 ②通学 ③買い物 ④通院 ⑤公共施設利用 ⑥金融機関利用 ⑦遊び・趣味・習い事など ⑧その他()
2)普段の路線バスの利用頻度(1つ○)	①週に5日以上 ②週に3~4日 ③週に1~2日 ④月に2~3日 ⑤月に1日 ⑥年に数日 ⑦その他()

問3. 本日までご利用の路線バスの運行サービスの各項目について、あなたのお考えに最もあてはまる番号それぞれ1つに○印をつけて下さい。①~⑥すべてにお答え下さい。

	満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満
①運行ルート(行き先等)	1	2	3	4	5
②運行本数	1	2	3	4	5
③運行時間帯	1	2	3	4	5
④運行情報案内	1	2	3	4	5
⑤バス停の待合空間(屋根、ベンチ)	1	2	3	4	5
⑥他のバスや鉄道との乗り継ぎのしやすさ	1	2	3	4	5

問4. 袖ヶ浦市内で運行中の路線バスについて、より多くの方々に利用して頂くためには、どのような取組みが効果的だと思いますか。(3つまでに○)

①運行ルート(行き先)の変更・見直し	☞具体的行き先:()
②便数増便	
③運行時間帯の拡大(始発、終発)	
④運行情報案内(公共交通総合マップ等)の充実	
⑤バス停の待合環境(ベンチ、屋根)の設置	
⑥バス停に駐輪場の設置	
⑦バス停の分かり易い運行情報案内(時刻表、系統図等)の表示改善	
⑧路線バス同士の乗り継ぎ時間の短縮や運賃割引の導入	
⑨バス車両の乗りやすさの改善	
⑩その他()	

最後に袖ヶ浦市の路線バスに関するご意見・ご要望がありましたら記入をお願いします。

--

ご協力ありがとうございました

調査員記入欄

《調査場所》

①袖ヶ浦駅北口

(ア.1 番乗り場 イ.2 番乗り場)

②袖ヶ浦駅南口

(ア.2 番乗り場 イ.3 番乗り場)

③長浦駅南口

(ア.1 番乗り場 イ.2 番乗り場 ウ.3 番乗り場)

《調査時間》 (_____ : _____)

主要施設利用者アンケート調査票

問 1. あなたご自身についてお聞きます。(それぞれ 1 つ選択)

1) 性別	①男性 ②女性	2) 年齢	() 歳代
3) 住まい	①昭和地区 ②長浦地区 ③根形地区 ④平岡地区 ⑤中川・富岡地区 ⑥袖ヶ浦市外 () 市区町村		
4) 自動車運転免許の有無	①ある ②ない ③運転免許返納済		
5) 運転免許証返納意思 ※4) で①回答者 (65 歳以上のみ)	①近いうち免許を返納する ②今は返納するつもりはないが、将来は返納する ③免許を返納するつもりはない		
6) 免許を返納しない理由 ※5) で③と回答者のみ	①車がないと日常生活が不便なため ②車を運転する楽しみが失われるため ③仕事等に支障があるため ④その他 ()		
7) 自動車保有状況の有無	①自動車あり (自分が自由に使える) ②自動車あり (自分が自由に使えない) ③自動車なし		

問 2. こちらの施設はどの位の頻度で利用していますか。(1 つに○印)

①週に5日以上	②週に3～4日	③週に1～2日	④月に2～3日	⑤月に1日
⑥年に数日 ⑦その他 ()				

問 3. 本日、こちらの施設まではどのような交通手段を利用して来られましたか。(該当するもの全てに○印)

①車 (自分で運転)	②車 (家族などの送迎・同乗)	③タクシー	④原付・バイク	⑤鉄道	⑥路線バス	⑦自転車	⑧徒歩	⑨その他 ()
------------	-----------------	-------	---------	-----	-------	------	-----	-------------------

問 4. こちらの施設へ来るに当って、移動する際に不便を感じることがありますか。(1 つに○印)

①不便と多くのことが多く	②たまに不便とすることがある	③不便は感じない
④分からない ⑤その他 () ⑥特になし		

問 5. 問 4 で「①不便と多くのことが多く」、「②たまに不便とすることがある」と回答された方にお聞きます。どのような理由で不便と感じていますか。(2 つまでに○印)

①家族等の送迎・同乗に頼らなければならない (運転免許がない・運転できない)	③自宅近くにバス停がない	⑥バス同士の乗継時間が悪い
②自分が自由に使える自動車がない	④自宅近くのバス停から目的地 (調査を回答した施設) 方面へ行くバスがない	⑦利用したい時刻にバスが運行していない
⑤バス停に待合施設 (ベンチ・上屋等) がない ⑧その他 ()		

問 6. 今後、どのような条件になれば公共交通を利用しますか。(2 つまでに○印)

①自動車運転免許を返納したら	②自分が自由に使える自動車がなくなったら
③自宅近くにバス停ができたなら	④自宅近くのバス停から希望する行き先へ行くバス路線が整備されたら
⑤利用したい時刻にバス路線が運行していれば (時頃)	
⑥その他 ()	

最後に袖ヶ浦市の公共交通に関するご意見・ご要望がありましたら記入をお願いします。

ご協力ありがとうございました

調査員記入欄

《調査場所》

- ①袖ヶ浦市役所
- ②市民会館
- ③イオン長浦店
- ④長浦行政センター
- ⑤平川行政センター
- ⑥ゆりの里

《調査日》 (:)

《調査時間》 (:)

一般社団法人袖ヶ浦市観光協会アンケート調査票

問1 袖ヶ浦市内における観光客の利用状況や利用特性について（平休日別、時間帯別、時期）

年間観光客数の推移 (過去5年間)		平成28年度：()人/年 平成29年度：()人/年 平成30年度：()人/年 令和元年度：()人/年 令和2年度：()人/年
主な利用者層 (時間帯別・ 時期) ※観光客、観 光客以外等	平日	
	土日祝	
	時期 ●月は、 観光利用が 多いなど	

問2 観光を取り巻く現状や新型コロナウイルスの影響やインバウンド動向などの観点から、問題点・課題についてお聞かせください。

問3 観光振興のために実施中（予定）の取組み施策・イベントで、公共交通との連携・協力した取組みや可能性についてお答えください。

※観光施設と公共交通との割引チケット、観光マップ等の情報提供など

問4 観光客や観光施設等から、袖ヶ浦市内の公共交通に関して寄せられている声についてお答えください。

問5 貴団体として袖ヶ浦市内の公共交通について、ご意見やご要望があればお答えください。

以上で終了です。ご協力ありがとうございました。

袖ヶ浦市商工会アンケート調査票

問1 商業を取り巻く現状や新型コロナウイルスの影響などの観点から、問題点・課題についてお聞かせください。

問2 商業活性化のために実施中（予定）の取組み施策・イベントで、公共交通との連携・協力した取組みや可能性についてお答えください。

※商工会や商業施設と公共交通との割引チケット、商店街マップ等の情報提供など

問3 来訪者や商業施設等から、袖ヶ浦市内の公共交通に関して寄せられている声についてお答えください。

問4 貴団体として袖ヶ浦市内の公共交通について、ご意見やご要望があればお答えください。

以上で終了です。ご協力ありがとうございました。

袖ヶ浦市社会福祉協議会アンケート調査票

問1 貴団体に関わる高齢者や障がい者、子育て世代等から公共交通（路線バス、タクシー等）について寄せられている声（ルート、ダイヤ、外出傾向等）や感じている課題（運転手、移送車両の確保等）があればお答えください。

問2 貴団体として袖ヶ浦市内の公共交通について、ご意見やご要望があればお答えください。

以上で終了です。ご協力ありがとうございました。

路線バス事業者アンケート調査票

問 1 袖ヶ浦市内で運行中の路線バス利用者の利用特性や傾向（平休日別、時間帯別）についてお答えください。

※主な利用者層（○時台に通勤者等（通勤者、高校生、高齢者、観光客等）の利用が多いなど

平日	
土日祝	

問 2 袖ヶ浦市内で運行中の路線バスについて運行上の問題点、経営上の問題点（乗務員不足、車両確保・更新、積み残しの有無など）などがあればお答えください。

--

問 3 袖ヶ浦市内での路線バスの走行環境について問題点などがあればお答えください。

- ・交通渋滞による遅延が発生している区間や時間帯（平休日別、時間帯）、その主な原因
- ・走行中に危険と感ずること（区間、時間帯、原因（道路が狭い、見通しが悪いなど））

--

問 4 袖ヶ浦市内を運行中の各路線の再編に向けて、事業評価（運行ルートやバス停の位置など）や検討中の考え方があればお答えください。

※路線の再編、運行ダイヤ、便数、ルートの変更など

--

問5 利用促進・利便性向上・経営改善等のために行っていること、今後計画（2022～2026年度）している事業があれば事業内容などをお答えください。

※割引運賃・周遊チケット、バリアフリー化、運行情報案内、イベントの開催、乗務員確保対策など

--

問6 利用者や市民等から寄せられている意見・要望などがあればお答えください。

--

問7 乗務員の不足などについて、行政に協力して欲しいことがあればお答えください。

--

問8 袖ヶ浦市の施策や計画に提言・期待することや、行政と事業者が協働で実施したいこと等があればお答えください。

--

最後にご担当者・連絡先をご記入ください。

会社名	
ご担当者職・氏名	
電話番号	
E-mail	

以上で終了です。ご協力ありがとうございました。

タクシー事業者アンケート調査票

問1 貴社のタクシー事業概要について

会社名						
車両保有台数 ・運転者数	車両保有台数 () 台・運転者数 () 人 ※うちワンボックス車両 () 台、福祉車両 () 台					
営業時間	(~) 時 (予約可能時間: (~) 時)					
稼働台数 (稼働率)	利用の多い 時間帯	(~) 時	稼働 台数	約()台	稼働率	約()割
	利用の少ない 時間帯	(~) 時	稼働 台数	約()台	稼働率	約()割

問2 一般タクシーの利用状況について (※おおよその回答で構いません。)

タクシー 乗客数の推移 (過去5年間)	平成28年度: 約 () 人/年 平成29年度: 約 () 人/年 平成30年度: 約 () 人/年 令和元年度: 約 () 人/年 令和2年度: 約 () 人/年		
乗客に占める袖ヶ浦市民の割合	約 () 割 ※令和2年度		
利用状況			
利用の多い日 (曜日、平日・休日)	利用の多い時間帯	利用の多い場所	利用者の特徴 (年齢層等)

問3 利用者や市民等から寄せられている意見・要望などがあればお答えください。

--

問4 貴社で現在抱えている課題 (運転手不足、車両更新など) があればお答えください。

--

問5 乗務員の不足などについて、行政に協力して欲しいことがあればお答えください。

--

問6 利用促進・利便性向上・経営改善等のために行っていること、今後計画（2022～2026年度）している事業があれば事業内容などをお答えください。

※タクシーアプリ等 ICT 技術、バリアフリー化、運行情報案内、イベントの開催、乗務員確保対策など

--

問7 袖ヶ浦市の施策や計画に提言・期待することや、行政と事業者が協働で実施したいこと等があればお答えください。

--

最後にご担当者・連絡先をご記入ください。

ご担当者職・氏名	
電話番号	
E-mail	

以上で終了です。ご協力ありがとうございました。

高速バス事業者アンケート調査票

問1 高速バス利用者（袖ヶ浦バスターミナル、袖ヶ浦駅、長浦駅）の利用特性や傾向（平休日別、時間帯別）についてお聞かせください。

※主な利用者層（○時台に通勤者など（会社員、高齢者、観光客など）の利用が多いなど

平日	
土日祝	

問2 路線の再編の可能性（ダイヤ、ルート変更など）があればお聞かせください。

--

問3 利用者や市民などから寄せられている意見・要望などがあればお聞かせください。

--

問4 袖ヶ浦市の施策や計画に提言・期待することや、行政と事業者が協働で実施したいこと、行政への要望などがあればお聞かせください。

--

最後にご担当者・連絡先をご記入ください。

会社名	
ご担当者職・氏名	
電話番号	
E-mail	

以上で終了です。ご協力ありがとうございました。

民生委員・児童委員アンケート調査票

袖ヶ浦市では民生委員・児童委員の皆さんを対象に、高齢者や障がい者の方の移動実態や公共交通に関する要望・意見等を把握するため、アンケート調査を実施しています。ご協力をお願いします。

袖ヶ浦市企画政策部企画政策課 (TEL0438-62-2327)

問 1 担当している地区を下記の中からお選びください。

担当 地区	①昭和地区	②蔵波地区	③長浦地区	④東部地区
----------	-------	-------	-------	-------

※以下の設問は、ご担当の地区にお住まいの高齢者や障がい者の方などの状況について、普段からお聞きになっていることや民生委員・児童委員ご自身が感じていることをお書きください。

問 2 袖ヶ浦市内での移動実態について

あなたのご担当の地区にお住まいの高齢者や障がい者の方などが、買物・通院・公共施設利用・金融機関利用などの施設へ行く際、「どのような手段で移動を行っているか」、「移動の際に困っていること」、「移動に関して日常生活で不便に感じていること」、「現在は行くことができないが本当は行きたい場所」などを具体的にご記入ください。

記入例

近所の人にお願ひして、自動車で送迎してもらっているが、時間が合わなくて思い通りに移動できずに困っている。

【記入欄】

一人で外出できる方のご意見	
一人で外出が困難な方のご意見	

問 3 普段利用する医療施設や商業施設について

あなたのご担当の地区にお住まいの高齢者や障がい者の方が日常利用する医療機関及び商業施設名をご記入ください（複数の施設を記載しても構いません）。

医療機関	
商業施設 (店舗名)	

議題（5）デマンド交通の実証運行について

1. デマンド交通導入の背景

（1）市長所信表明における基本政策

「車が無くても生活できるまちへ」

高齢者による交通事故の急増が社会問題になっており、高齢者にとって運転に関する不安が高まっていることから、運転免許証を返納しても安心して外出できるまちづくりを目指す。

（2）本市基本計画における位置づけ

①現状と課題

◆更なる高齢化の進行に伴い、交通弱者が増加することが見込まれることから、日常生活における移動手段を持たない市民の足を確保するため、多様な移動手段の確保を図っていく必要がある。

②公共交通施策の方向性

◆日常生活の移動手段を確保するため、路線バスを補完する地域内の取組を支援するとともに、新たな移動支援策について検討する。

（3）地域内交通の現状

地域内交通全体の傾向として、共通して挙げられる課題は、運転手等の担い手不足が挙げられる。また、交通事業者においては、新型コロナウイルス感染症の影響により、収支は悪化しており、このままの状態が続くと、交通事業者の更なる事業規模の縮小や撤退が予想され、公共交通の維持は困難となる。

このようなことから、地域内交通を維持するために、路線バスやタクシーなどの既存公共交通が担える範囲での役割（※）を整理し、その範囲を超えている部分については、新たな移動手段を導入して補う必要がある。

また、新たな移動手段の導入については、できる限り持続可能なスキームであることや、既存公共交通事業者の協力を優先項目とし、かつ地域住民のニーズを可能な範囲で満たすことや段階的な導入を検討する。

※担える範囲での役割

交通モードにおける適性や交通事業者の人的・経営面を考慮した際に、無理が生じない範囲での役割のこと。

2. デマンド交通導入の目的

既存の公共交通では担えない役割を担って（補完して）もらい、日常生活における移動手段を確保することを目的とする。

各交通手段の役割(現状)				
	鉄道	高速バス	路線バス	タクシー
輸送量	大量	大量	中量～大量	個別
利用シーン	通勤・通学 レジャー 他の地域からの観光	通勤・通学 レジャー	通勤・通学 他の地域からの観光 日常生活の移動	目的地まで直接行きたいとき 他の交通モードが利用できないとき
移動距離				
都市間	↑ ↓	↑ ↓		↑ ↓
地域内 (隣接市含む)	↑ ↓		↑ ↓	↑ ↓
地区内			↑ ↓ } ※要望多数	↑ ↓



各交通手段の役割(導入後)					
	鉄道	高速バス	路線バス	新たな移動手段	タクシー
輸送量	大量	大量	中量～大量	個別～少量	個別
利用シーン	通勤・通学 レジャー 他の地域からの観光	通勤・通学 レジャー	通勤・通学 他の地域からの観光 日常生活の移動	日常生活の移動	目的地まで直接行きたいとき 他の交通モードが利用できないとき
移動距離					
都市間	↑ ↓	↑ ↓			↑ ↓
地域内 (隣接市含む)	↑ ↓		↑ ↓		↑ ↓
地区内			↑ ↓ } ← 補完	↑ ↓	↑ ↓

3. デマンド交通導入の方針

デマンド交通を導入する方針として、以下の項目を掲げる。

- ◆市民に使ってもらえる移動支援策にする。
⇒他の公共交通と役割を分担させつつ、より利便性の高いものに
- ◆既存の公共交通への影響をできる限り小さくする。
⇒担える役割の面で、他の公共交通と被らないように。また、既存の公共交通と差別化を図り、共存できるように。
※運行に関しては既存交通事業者等に委託する。
- ◆利用者数や予算面、運営面などで持続可能な移動支援策とする。
⇒より市の負担を少なく、自由度を高く
- ◆公共交通として、対象者を高齢者だけに限定しない。
⇒年齢ではなく、地区、目的地などで制限を
- ◆まずは実証運行で課題やニーズを整理する。
⇒課題を踏まえたうえで、本格運行や範囲の拡大を段階的に検討する。

4. 導入するデマンド交通

現在、全国の自治体では多くのデマンド交通が運行されており、その形態は様々である。

今回、上記方針の2点目と3点目を踏まえて、

◆予算面で持続可能なスキームであること。

◆タクシーとの差別化を図り、タクシーよりも多少不便であること。

を考慮し、スポンサー企業からの協賛金を募ることや、家までは迎えに行かず、最寄りのごみステーション等を乗降場に設定する形態とする。

また、運転手の負担を考慮するとともに、効率的な運行を可能にするため、ICTを活用した配車システムを用い、乗合乗車を前提としたデマンド交通を目指す。

詳細については、交通事業者等と協議して案を定め、本協議会で審議する。

5. 運行概要（素案）

以下の素案を用いながら、交通事業者等と協議を重ねる。

運営主体														
事業内容	登録利用者の予約に応じて、乗合による目的地（買物施設、医療介護関係施設、公共施設、金融機関等）への輸送を行う													
運行事業者														
事業期間	令和4年10月から令和7年9月末までを実証実験期間とする。 長浦地区については、実績や地域の特性等を踏まえて、実証期間終了後の本格運行について判断する。 その他の地区での実証実験については、毎年度の実績を見ながら随時判断する。													
運行区域	<p>原則、長浦地区内とする。</p> <p>【乗降場所】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内公共施設（市役所や長浦駅などを含む） ・長浦地区内の商店、病院、銀行等のうち、スポンサー料を支払う企業 <p><運行ルール></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="2">降車</th> </tr> <tr> <th>長浦地区内</th> <th>地区外の公共施設</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="2">乗車</th> <th>長浦地区内</th> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <th>地区外の公共施設</th> <td>○</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			降車		長浦地区内	地区外の公共施設	乗車	長浦地区内	○	○	地区外の公共施設	○	×
				降車										
		長浦地区内	地区外の公共施設											
乗車	長浦地区内	○	○											
	地区外の公共施設	○	×											
運賃	<p>運行区域別に運賃を設定。車両内で運転手が運賃收受</p> <p>※月額定額制や、回数券も検討</p> <p><区域別運賃></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="2">降車</th> </tr> <tr> <th>長浦地区内</th> <th>地区外の公共施設</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="2">乗車</th> <th>長浦地区内</th> <td>300円</td> <td>500円</td> </tr> <tr> <th>地区外の公共施設</th> <td>500円</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			降車		長浦地区内	地区外の公共施設	乗車	長浦地区内	300円	500円	地区外の公共施設	500円	×
				降車										
		長浦地区内	地区外の公共施設											
乗車	長浦地区内	300円	500円											
	地区外の公共施設	500円	×											

会員対象	長浦地区在住の人
会員募集	運行主体または市が中心に実施
運行日	週5日（月曜日～金曜日）土日祝日・年末年始（12/29～1/3）は除く
運行時間	午前8時30分から午後4時まで（午後4時に降車完了）
利用方法	<p>【利用概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用対象者（市内指定エリア在住の方）は、事前に会員登録する事とし、利用は事前予約とする。 ・利用者については、一人で乗降できる者とする。ただし、介助者が入る場合にはこの限りではない <p>【予約方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電話、インターネット <p>【予約受付時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電話予約受付時間は、午前8時00分から午後4時までとする ・予約受付は、乗車日の1ヵ月前から当日の運行30分前までとする <p>【乗降場所】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者登録の乗降場所（最寄りのごみステーション等） <p>【乗降方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乗車希望時間の5分前までに、運行区域内に設定した乗降場所（最寄りのごみステーション等）に行く
配車システム及び業務内容	IT型で、車両に設置したタブレットの運行指示に従い乗降場所へ移動し、利用者の乗降を行う。
運行車両	1台で開始する。状況により、増台等も検討する。